令和５年度　第３回酒田市文化芸術推進審議会

◆日時：令和６年３月19日（火）午前10時～

◆会場：希望ホール　小ホール

１　開　会

２　答　申

３　報　告

（１）審議会のサイクル案について　資料１

（２）令和５年度評価指標の現状（アンケート結果）について　資料２

（３）文化芸術推進プロジェクト会議の活動状況について

４　協　議

（１）答申書に対する今後の方針について　資料３

（２）令和５年度事業、令和６年度事業について（事業カード）　資料４

５　その他

（１）東京藝術大学との委託事業報告

６　閉　会

酒田市文化芸術推進審議会委員名簿

氏　名	推薦団体等
中川　幾郎	帝塚山大学名誉教授
熊倉　純子	東京藝術大学大学院教授
市原　多朗	声楽家 酒田市名誉市民
村上　幸太郎	酒田市芸術文化協会会長 公益財団法人さかた文化財団理事長
五十嵐　敏剛	酒田市小中学校長会 酒田市立十坂小学校校長
田中　章夫	公益財団法人本間美術館館長
桐澤　聡	社会福祉法人酒田市社会福祉協議会会長
加藤　聡	酒田商工会議所会頭 公益社団法人山形交響楽協会理事 加藤総業（株）代表取締役社長
加藤　真知子	酒田市認可外保育施設審議会委員
白旗　定幸	酒田市文化芸術推進計画検討委員会代表

【事務局】

酒田市企画部文化政策課	文化政策調整監兼文化政策課長	金野　洋和
	文化財主幹	川島　崇史
	課長補佐	深松　奈緒子
	文化芸術主査	加藤　浩
	文化芸術係長	東海林　聰
	文化財係長	土田　和幸
	管理主査兼管理係長	高橋　ゆかり

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	委員任期～R6.9.30	委員任期　R6.10.1～R8.9.30		委員任期　R8.10.1～R10.9.30		
1回目	R5～計画改定について（①体系図、②推進体制） R5諮問 藝大との連携	①R6予算(確定) 予算額＆事業内容 ②R5決算（確定） 決算額＆事業結果 ★事業カード	①R7予算(確定) 予算額＆事業内容 ②R6決算（確定） 決算額＆事業結果 ★事業カード	①R8予算(確定) 予算額＆事業内容 ②R7決算（確定） 決算額＆事業結果 ★事業カード	①R9予算(確定) 予算額＆事業内容 ②R8決算（確定） 決算額＆事業結果 ★事業カード	①R10予算(確定) 予算額＆事業内容 ②R9決算（確定） 決算額＆事業結果 ★事業カード
2回目	R4決算(確定)事業報告 R5～計画見直（①R9評価目標②推進体制） H29～R4評価指数の現状 藝大委託事業中間報告	R6諮問 R７事業に向けて	R7諮問 R８事業に向けて	R8諮問 R９事業に向けて	R10～計画案	
～2月	審議会サイクル案提示 R5答申案協議 メールにて	R6答申案協議 メールにて	R7答申案協議 メールにて	R8答申案協議 メールにて		
3回目	事業カード案提示 ①R5事業(途中経過) ②R6予算要求(未確定) ★事業カード 評価指数の現状(R5) 藝大委託事業報告 R5答申	R6答申 会長のみ	R7答申 会長のみ	R8答申 会長のみ		
2回目（3月）		委嘱状交付 ①R6事業(途中経過) ②R7予算要求(未確定) ★事業カード 評価指数の現状(R6)	①R7事業(途中経過) ②R8予算要求(未確定) ★事業カード 評価指数の現状(R7)	委嘱状交付 ①R8事業(途中経過) ②R9予算要求(未確定) ★事業カード 評価指数の現状(R8) R10～計画案	①R9事業(途中経過) ②R10予算要求(未確定) ★事業カード H29～R9評価指数の現状 R10～計画案	

資料１

資料2

R6.3.13差替

評価指標の現状

基本目標	評価指標 (計画P32)	実　績						目標値
		H29年度 （計画策定時）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R9年度
市民文化政策 （ひとづくり） 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現	1.文化芸術活動※1のしやすいまちだと答える市民の割合【課題1】	50.3%	50.9%	35.0%	36.7%	34.0%	37.3%	60%
	2.文化芸術活動に参加した市民の割合【課題1】	27.7%	29.3%	16.2%	26.9%	26.9%	41.2%	33%
	3.文化芸術活動の満足度【課題1】	42.1%	36.2%	25.2%	28.8%	21.8%	28.2%	50%
	4.文化芸術活動を鑑賞した市民の割合【課題2】	36.4%	43.8%	28.8%	30.8%	41.0%	60.7%	43%
	5.子どもたちの文化芸術にふれる機会に対する満足度【課題3、6】	31.2%	29.3%	20.7%	20.2%	18.2%	30.1%	37%
都市文化政策 （まちづくり） 誇りをもてる酒田らしさの創造	6.文化資源※2について誇りをもっている市民の割合【課題4】	66.3%	58.4%	53.1%	53.7%	48.1%	93.9%	79%
	7.多様な分野との連携事業数【課題5】	教育関係1 観光関係1 商工関係1	福祉関係2 観光関係1	福祉関係1 教育関係1 観光関係1	福祉関係1 教育関係2 観光関係1	福祉関係1 観光関係1 教育関係1	福祉関係1 教育関係1	他分野との連携 10事業
	8.文化施設※3に行ったことのある市民の割合【課題4】	市内6施設平均 81.7%	市内4施設平均 62.2%	市内4施設平均 58.3%	市内4施設平均 67.1%	市内5施設平均 66.3%	市内5施設平均 91.1%	90%

※1.文化芸術活動：ホールでのコンサート、美術館での鑑賞、講演会、文化祭、ワークショップ、伝統芸能等に参加して活動すること。

※2.文化資源とは酒田市美術館、希望ホール、本間美術館、土門拳記念館、総合文化センターや文学、音楽、舞踏、伝統芸能をはじめとする文化芸術活動に関係するもの。

※3.文化施設とは市内4施設(土門拳記念館、酒田市美術館、本間美術館、酒田市民会館)、5施設(+文化センター)、6施設(+公民館)

注）計画策定時(平成29年度)の数値については、「酒田市芸術文化振興計画(仮称)策定に伴うアンケート」(平成29年7月実施)の結果に基づくものであり、令和元年度から令和5年度の数値については、各年度に実施した市民アンケートの結果に基づくもの。※Ｒ6.3.月一部数値修正

資料 3-1

写

令和６年３月１９日

酒田市長　矢口　明子　様

酒田市文化芸術推進審議会
会　長　　中　川　幾　郎

酒田市文化芸術推進計画改定について（答申）

令和５年７月２８日付け文発第８７号で酒田市から諮問のありました標記の件につきまして、当審議会で審議を行った結果、意見が集約されましたので、別添のとおり答申します。

1　諮問事項
　酒田市文化芸術推進計画改定について

【諮問理由】
酒田市は、文化芸術によるまちづくりを推進するため、平成 30 年 3 月に酒田市文化芸術基本条例を制定し、平成 30 年 2 月に策定した酒田市文化芸術推進計画に基づき事業を実施しております。
10 か年計画後半となる令和 6 年度から令和 9 年度の本市の文化芸術に関する施策の推進を図るため、計画の改定案を貴審議会に諮問するものです。

答　申　書

1　酒田市文化芸術推進計画の推進体制について

令和５年度から教育委員会から庁内横断的な連携強化を目的とし、市長部局に組織改編されたことや文化芸術推進審議会、文化芸術推進プロジェクト会議、庁内関係課、文化芸術団体が密接な連携を図っていく推進体制により真の連携が図られることに期待する。

さらに文化芸術推進プロジェクト会議についても、これまでの庁内関係部長を主要なメンバー構成とする現状から、多様な分野のメンバーで構成された組織への見直しを図ること。これにより、市民との協働共創の推進がより一層図られるものと思われるが、作業メンバーは少人数制にするなど、より実効性の高い体制にするなどの工夫が必要である。

今後、継続し全庁的に文化政策の推進を図るため、文化芸術基本条例の自治事務の根拠としての位置づけや、その理念と方向性を明示した文化芸術推進計画について、職員研修の実施に取り組むこと。併せて、関連する市民や市民団体に向けての条例・基本計画の啓発に取り組むこと。

2　酒田市文化芸術推進計画の評価指標の目標値の設定について

目標数値についてコロナ禍における制限の中ではあるが、ほぼ全ての評価指標が悪化しており危機感を覚える。令和９年度の目標値は現状と比較し非常に高い数値の設定となったが、目標達成に向けてこれまで以上に庁内連携や市民協働に取り組み推進すること。

また、評価指標の補助評価として事業カードによる事業評価を行い、特に文化政策の主要事業については文化政策の視点による政策評価を行い計画の推進に努めること。また、審議会の意見については現年度や翌年度事業に速やかに反映できるよう審議会の開催時期やサイクル、評価方法について見直しを行い、目標達成に向けてＰＤＣＡのサイクルを活用すること。

多様な分野における市民アートコーディネーターの発掘と育成に向け、東京藝術大学と協定の締結及び協定に基づいた調査研究業務委託により、現状の調査研究に着手したことは評価できる。この調査研究により得られた知見を活かし、それぞれの状況において必要とされる地域に根差した市民アートコーディネート人材や団体の発掘とその育成のための研修に取り組むこと。

酒田市文化芸術推進計画では、文化芸術活動(※1)を行うことは人々の生まれながらの権利であり、「市民等が等しく文化芸術活動を行うことができるような環境の整備」をその基本理念としている。特に障がい者、就学前の子ども、小中学校の児童・生徒、外国人、高齢者、一人暮らしの人などが平等に文化芸術を享受できる環境の整備を推進するため、その制度及び体制整備と事業の早期開始に着手すること。

※1　文化芸術活動の範囲・・・文化芸術を享受し、創造する活動のほか、これらの活動を「支援」、「継承」する活動も含みます。（酒田市文化芸術推進計画Ｐ６第４節文化芸術の領域より）

資料 3-2

答　申　書（令和６年３月１９日付）に対する今後の方向性

１　酒田市文化芸術推進計画の推進体制について

令和５年度から教育委員会から庁内横断的な連携強化を目的とし、市長部局に組織改編されたことや文化芸術推進審議会、文化芸術推進プロジェクト会議、庁内関係課、文化芸術団体が密接な連携を図っていく推進体制により真の連携が図られることに期待する。

さらに文化芸術推進プロジェクト会議についても、これまでの庁内関係部長を主要なメンバー構成とする現状から、多様な分野のメンバーで構成された組織への見直しを図ること。これにより、市民との協働共創の推進がより一層図られるものと思われるが、作業メンバーは少人数制にするなど、より実効性の高い体制にするなどの工夫が必要である。

今後、継続し全庁的に文化政策の推進を図るため、文化芸術基本条例の自治事務の根拠としての位置づけや、その理念と方向性を明示した文化芸術推進計画について、職員研修の実施に取り組むこと。併せて、関連する市民や市民団体に向けての条例・基本計画の啓発に取り組むこと。

●令和６年度より文化芸術推進プロジェクト会議の人材については、市民協働の核となるべく、多様な分野により再構成し、市民の自由な発想と意思に基づいたアイディアを事業に活かすとともに、庁内及び外部団体等と連携を一層図りながら市民協働による文化芸術推進計画の推進を図ってまいります。

●文化芸術基本条例及び文化芸術推進計画についての研修に努め、職員の文化芸術推進政策における意識の向上、啓発を図り庁内の連携を深めてまいります。

２　酒田市文化芸術推進計画の評価指標の目標値の設定について

目標数値についてコロナ禍における制限の中ではあるが、ほぼ全ての評価指標が悪化しており危機感を覚える。令和９年度の目標値は現状と比較し非常に高い数値の設定となったが、目標達成に向けてこれまで以上に庁内連携や市民協働に取り組み推進すること。

また、評価指標の補助評価として事業カードによる事業評価を行い、特に文化政策の主要事業については文化政策の視点による政策評価を行い計画の推進に努めること。また、審議会の意見については現年度や翌年度事業に速やかに反映できるよう審議会の開催時期やサイクル、評価方法について見直しを行い、目標達成に向けてＰＤＣＡのサイクルを活用すること。

多様な分野における市民アートコーディネーターの発掘と育成に向け、東京藝術大学と協定の締結及び協定に基づいた調査研究業務委託により、現状の調査研究に着手したことは評価できる。この調査研究により得られた知見を活かし、それぞれの状況において必要とされる地域に根差した市民アートコーディネート人材や団体の発掘とその育成のための研修に取り組むこと。

酒田市文化芸術推進計画では、文化芸術活動を行うことは人々の生まれながらの権利であり、「市民等が等しく文化芸術活動を行うことができるような環境の整備」をその基本理念としている。特に障がい者、就学前の子ども、小中学校の児童・生徒、外国人、高齢者、一人暮らしの人などが平等に文化芸術を享受できる環境の整備を推進するため、その制度及び体制整備と事業の早期開始に着手すること。

●審議会の開催については、審議会の意見を速やかに事業へ反映可能な時期の開催に改め、事業評価については、文化政策の主要な事業において事業カードを作成し、継続的に文化政策の視点による自己評価を行い、ＰＤＣＡに活用してまいります。
●評価指標の目標達成に向け、障がい者や未就学児、高齢者等あらゆる市民が文化芸術に親しむ機会を創出するため、市民、団体等と連携を図りながら施策の実施(充実)に努めていくとともに、市民に広く知ってもらうため効果的な情報発信にも取り組んでまいります。
●また、令和5年度に実施した、東京藝術大学と協定の締結及び協定に基づいた調査研究業務委託を活かし、令和6年度以降は多様な分野の人材や団体による市民アートコーディネーターの発掘と育成に取り組み、地域に根づく文化芸術活動の推進を図ってまいります。

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	市民芸術祭開催	担当課	文化政策課
	予算事業名	文化振興総務管理事業		
事業概要		市民の文化芸術活動を広く公表する場として市民芸術祭及び開幕式典・公演を開催することで文化芸術に対する市民の興味関心の向上を図る。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☑ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☑ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

１事業の実施主体	酒田市
２関係団体等	酒田市芸術文化協会
３ 協働者(事業実施者)	1.なし (担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 酒田市芸術文化協会(開幕公演委託)
４ 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
５ 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R5		・市民の文化芸術活動を広く公表する場として酒田市民芸術祭を開催することで、文化芸術に対する市民の興味関心の向上を図った。 ・開幕公演では育成をテーマとし、子ども向けのワークショップの開催や、子ども達と一緒にステージ発表を行うなど、幅広い年代が文化芸術に触れる機会を創出した。 **課題（両課協議）** ・期間や団体を限定せず、年間を通じ誰もが文化芸術に親しむことができる市民芸術祭とするため、内容の見直しを図っていく。 ・ワークショップに参加した子ども達が、文化芸術活動に対し継続して興味関心を持ってもらう工夫が必要。

1芸術祭

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
５ 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R6	・市民芸術祭や開幕式典・公演の内容(テーマ)について、酒田市芸術文化協会と協議しながら進め、多くの市民に親しまれる芸術祭を目指す。 ・子ども達が文化芸術活動を継続してできる環境づくりを芸術文化協会と協議を図っていく。	**課題（両課協議）**
	R7		**課題（両課協議）**
	R8		**課題（両課協議）**
	R9		**課題（両課協議）**

1芸術祭

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	市民芸術祭参加団体(個人含)	団体	24	30				
(2)	市民芸術祭入場者数	人	10,930	11,090				
(3)	開幕公演・式典参加者数	人	499	297				
(4)	開幕公演・式典時ワークショップ参加者数	人	-	242				
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
・第67回酒田市民芸術祭参加者の取りまとめ ・会場使用料の減免 ・広報、市HP、市LINE等市民への周知 ・酒田市民芸術祭の開催に先立ち開幕式典・公演の実施	・開幕式典・開幕公演（9/17実施） ・会場/総合文化センター ・テーマ「未来へのかけはし～未来へつなぐ～」 ・酒田市芸術文化協会に所属する団体・個人が市内各所において作品の展示やステージ発表等の文化芸術活動に取り組んだ。(9～2月) ・酒田市民会館の利用が9月～11月の週末に集中し、他団体の利用が困難な状況だったことから、R6年度の募集は利用日を限定し行った。

当初予算額	1,071 千円	決算見込み	1,071 千円
主な経費	市民芸術祭開幕公演委託料1071千円		

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
・第68回酒田市民芸術祭参加者の取りまとめ ・会場使用料の減免 ・広報、市HP、市LINE等市民への周知 ・酒田市民芸術祭の開催に先立ち開幕式典・公演の実施	

当初予算額	1,071 千円	決算見込み	千円
主な経費	市民芸術祭開幕公演委託料1071千円		

2本間美術館補助

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	本間美術館活動補助金	担当課	文化政策課
	予算事業名	文化振興総務管理事業		
事業概要		重要文化財等を多数所蔵し、本市の観光拠点でもある本間美術館の運営の安定化と施設の維持管理を支援をすることで、貴重な文化財を散逸・荒廃させることなく後世に引き継ぎ、多彩な展示・教育普及活動の展開につなげていくもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☑ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☑ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	公益財団法人本間美術館
2 関係団体等	酒田市
3 協働者(事業実施者)	1.なし (担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 本間美術館(補助金)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価 (両課協議)
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R5		・入館者数の増及び満足度の向上を図るため、文化庁補助事業も活用し、Ｒ３～Ｒ５にかけて施設整備やキャプションの多言語化、オリジナルグッズ開発など積極的に行った。 ・小中学生の入館料を無料とし、子どもたちへの鑑賞する機会の提供を行っている。 **課題 (両課協議)** ・本間美術館の貴重な文化資源を継続的に保存活用していくため、引き続き支援を行っていく必要がある。

2本間美術館補助

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価 (両課協議)
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R6	・これまでの環境整備や観光分野との連携を活かし、入館者や売上の増を図るなど、経営を維持するための工夫や検討を依頼する。 ・本市の文化資源活用の普及を図るため、小中学生対象のスクールプログラムの実施の可能性を協議する。	**課題 (両課協議)**
	R7		**課題 (両課協議)**
	R8		**課題 (両課協議)**
	R9		**課題 (両課協議)**

2本間美術館補助

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	入場者数	人	19,804	22,490 (R6.1末現在)				
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
本間美術館活動事業補助金 (対象経費:給料手当(事業に関わるものに限る)、旅費交通費、通信運搬費、消耗品費、修繕料、委託費、印刷製本費、水道光熱費、保険料、諸謝金及び支払手数料)	・常設展示事業、企画展示事業(7回) ・企画展時学芸員によるギャラリートーク ・体験、ワークショップ、公演の実施 ・広報活動 ・美術品収集保存 ・施設整備 ・喫茶運営、グッズ販売

当初予算額	3,637 千円	決算見込み	3,637 千円
主な経費	本間美術館活動補助金		

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
本間美術館運営に係る補助金 本間美術館活動事業補助金 (対象経費:給料手当(事業に関わるものに限る)、旅費交通費、通信運搬費、消耗品費、修繕料、委託費、印刷製本費、水道光熱費、保険料、諸謝金及び支払手数料)	

当初予算額	3,637 千円	決算見込み	千円
主な経費	本間美術館活動補助金		

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	土門拳記念館管理運営事業	担当課	文化政策課
	予算事業名	～Ｒ5土門拳記念館管理運営事業 Ｒ6～文化施設管理運営事業		
事業概要		土門拳氏の功績を記念した日本初の写真専門記念館の健全な運営を図り、写真を通した文化芸術活動や鑑賞の機会の創出、及び郷土愛を醸成するもの。 【Ｓ58年開館】土門拳作品約13万5千点を所蔵		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☑ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☑ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市、公益財団法人さかた文化財団（指定管理者）
2 関係団体等	
3 協働者(事業実施者)	1.なし（担当課のみ） 2.あり（委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載） 公益財団法人さかた文化財団(委託/指定管理)
4 主な受益者	1.全ての市民　（特に力を入れている対象がある場合：　） 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳)　成人　高齢者(65歳～)　障がい児者　外国人 3.企業　団体　その他(　)

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R5		・施設運営についても不備なく対応している。 ・イベント情報や雑誌・ＴＶの特集内容など、リアルタイムで情報発信し、興味関心を持つきっかけづくりに努めている。 ・写真と他分野と融合した事業を実施し、作品のみならず土門拳記念館全体の魅力をアピールし多様な分野との連携に努めている。 **課題（両課協議）** ・施設の老朽化(Ｒ5年度40周年)による修繕が頻繁している。休館も視野に入れた大規模改修が必要。 ・劣化していく作品(ネガ含)の保護と保管方法。

3土門拳管理

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R6	・大規模改修に向け、Ｒ6年度は改修箇所を確定するための建物劣化調査を実施する。 ・現在実施している原板のビネガーシンドローム対策に加え、スキャンが可能な今のうちにデジタル化(原板スキャン、データ化、台帳整理)をR6年度から5年をめどに集中的に進めていく。	**課題（両課協議）**
	R7		**課題（両課協議）**
	R8		**課題（両課協議）**
	R9		**課題（両課協議）**

3土門拳管理

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	入館者数	人	19,091	19,623 (R6.1末現在)				
(2)	企画展開催回数	回	5	5				
(3)								
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
土門拳記念館の管理運営(指定管理R3～R5) ・土門拳作品展示事業6（特別展示、企画展示） ・写真文化普及啓発事業 ・写真作品等保存管理事業 ・教育普及事業 ・土門拳記念館ＰＲ及び広域情報提供事業 ・調査研究事業 ・施設管理運営事業 収蔵品(土門拳撮影フィルム)ビネガーシンドローム対策	主な普及推進事業 ・ギャラリートーク ・こども写真教室4/29 ・親子ワークショップ7/23 ・写真展「わたしのこの一枚」11/22～12/3 ・ミュージアムコンサート 8/19(ナイトミュージアム、二胡とピアノ)、 10/22(被爆ピアノ)、 11/4(ハンマーダルシマー) ・フラワーアートｉｎ土門拳記念館10/13-20 収蔵品(土門拳撮影フィルム)ビネガーシンドローム対策

当初予算額	48,345 千円	決算見込み	55,134 千円
主な経費	施設修繕料、土門拳記念館施設管理委託料　※12月補正275千円(修繕料)、3月補正4501千円(委託料)		

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
・土門拳記念館の管理運営(指定管理R6～R10) ・収蔵品(土門拳撮影フィルム)ビネガーシンドローム対策 ・大規模改修に向けた建物劣化調査業務委託料 ・Wi-Fi環境の整備 ・施設修繕	

当初予算額	182,977 千円	決算見込み	千円
主な経費	施設修繕料、市美術館・土門拳記念館指定管理委託料ほか		

4土門拳文化賞

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	土門拳文化賞顕彰事業	担当課	文化政策課
	予算事業名	土門拳文化賞顕彰事業		
事業概要		土門拳氏の功績をたたえ、国内アマチュア写真家を対象に土門拳氏が生涯追求したドキュメント性、メッセージ性の精神を受け継ぐ組み写真(30組)の公募、顕彰及び作品展を開催することにより、写真文化・写真芸術の振興及び郷土愛の醸成を図るもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☑ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☑ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市、公益財団法人さかた文化財団
2 関係団体等	
3 協働者(事業実施者)	1.なし (担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 公益財団法人さかた文化財団(委託)、土門拳文化賞選考委員会(謝金)
4 主な受益者	1 全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 (全国のアマチュア写真家)

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R5		土門拳文化賞を友の会等関係者と連携し発信することにより、故人の功績や土門拳記念館の魅力を全国に向け発信している。 **課題（両課協議）** 賞金については類似の賞に合わせ50万円としているが、今後の必要性について検討が必要。

4土門拳文化賞

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R6	賞金の必要性について、関係団体であるさかた文化財団や土門拳文化賞選考委員会、友の会と協議する。	**課題（両課協議）**
	R7		**課題（両課協議）**
	R8		**課題（両課協議）**
	R9		**課題（両課協議）**

4土門拳文化賞

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	受賞作品展入館者数(土門拳記念館)	人	3,061	3544	2,500			
(2)	作品応募者数	人	106	102				
(3)								
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
	第29回酒田市土門拳文化賞業務 ・選考会　令和5年6月9日 （土門拳文化賞1点、奨励賞3点） ・受賞者及び受賞作品発表　8月定例記者会見 ・授賞式の開催　令和5年10月1日(場所/土門拳記念館) ・作品展の開催(場所/土門拳記念館、東京、大阪) 第30回酒田市土門拳文化賞作品募集業務	応募者数102人 ・選考会　6/9 ・授賞式　10/1 ・受賞作品展開催 土門拳記念館9/16～10/23 東京展11/7～11/20ニコンプラザ東京 大阪展11/30～12/13ニコンプラザ大阪
	当初予算額　1,676 千円	決算見込み　1,539 千円
	主な経費　公募及び選考業務委託料（土門拳記念館管理運営事業）、楯制作委託料、賞賜金等	

令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
	第30回酒田市土門拳文化賞業務 ・選考会　令和6年6月7日 （土門拳文化賞1点、奨励賞3点程度） ・受賞者及び受賞作品発表　8月定例記者会見 ・授賞式　令和6年9月7日(場所/土門拳記念館) ・作品展の開催(場所/土門拳記念館、東京、大阪) 第31回酒田市土門拳文化賞作品募集業務	
	当初予算額　3,919 千円	決算見込み　千円
	主な経費　公募及び選考業務委託料2215（文化施設管理運営事業から付替）、楯制作委託料、賞賜金等	

5土門拳マンガ

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	土門拳伝記マンガ製作活用事業	担当課	文化政策課
	予算事業名	土門拳伝記マンガ製作活用事業		
事業概要		土門拳記念館開館40周年(Ｒ5.10月)を記念し、Ｂ＆Ｇ財団の助成を得てふるさとゆかりの偉人「土門拳」を題材としたマンガを制作し、学校での授業やスクールプログラム等で活用し子供たちの郷土愛の醸成につなげるもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☑ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☑ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	Ｂ＆Ｇ財団(公益財団法人ブルーシーアンドグリーンランド財団)、公益財団法人さかた文化財団、土門拳マンガ検討委員会
3 協働者(事業実施者)	1.なし (担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) Ｂ＆Ｇ財団(補助金交付元)、公益財団法人さかた文化財団(委託)、土門拳マンガ検討委員会(報酬)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合： 子ども) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ( )

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R5		・世界的な写真家であり酒田市名誉市民第1号である土門拳の生涯を伝えるマンガを作成できた。R6に各学校等に配布し、子供たちが写真文化や郷土愛に触れやすい機会につなげる予定である。 **課題（両課協議）** ・学校や土門拳記念館で行うスクールプログラムでの活用に留めず、より多くの人の眼に触れる工夫を行い、写真文化や郷土愛の醸成につなげていく。

5土門拳マンガ

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R6	・図書館や市内コミュニティセンターにも配布していることから、ホームページ等により周知を図り、子どもだけではなく幅広い年代が写真文化に触れる機会を増やしていく。	**課題（両課協議）**
	R7	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**
	R8	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**
	R9	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**

5土門拳マンガ

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	制作部数	部		1,700				
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
・酒田文化財団へ委託 ・土門拳マンガ検討委員会にて検討 ・仕様/B6版、100ページ以上、1,000部以上、マンガ制作活用検討委員会の設置、学校授業への導入必須(配布のみは×)、配布対象者1,000名以上 ※補助内容/「ふるさとゆかりの偉人マンガ制作と活用事業助成金」上限300万円、補助率100%以内	マンガふるさとの偉人「リアリズム写真の巨匠「鬼の眼　土門拳」」 ・仕様　B6版、124ｐ、1,700部 ・配布先 市内小中学校884、図書館・コミュニティセンター92、土門拳記念館630、行政・教育機関94 ・R6年度から授業(GIGAスクールタブレット端末)で利用予定。

当初予算額	3,000 千円	決算見込み	3,000 千円

主な経費　※4月補正　偉人マンガ製作活用業務委託料

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)

当初予算額	千円	決算見込み	千円

主な経費

6市美術館管理

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	美術館管理事業	担当課	文化政策課
	予算事業名	～Ｒ5美術館管理事業 Ｒ6～文化施設管理運営事業		
事業概要		市民に身近な美術館を運営することにより、美術館を通した文化芸術活動の場と芸術鑑賞の機会の創出を図るもの。 【Ｈ9年開館】		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☑ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☑ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市、公益財団法人さかた文化財団（指定管理者）
2 関係団体等	
3 協働者(事業実施者)	1.なし（担当課のみ） 2.あり（委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載） 公益財団法人さかた文化財団(委託/指定管理)
4 主な受益者	1.全ての市民（特に力を入れている対象がある場合： ） 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳)　成人　高齢者(65歳～)　障がい児者　外国人 3.企業　団体　その他( )

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R5		・施設運営についても不備なく対応している。 ・イベント情報や雑誌・ＴＶの特集内容など、リアルタイムで情報発信し、興味関心を持つきっかけづくりに努めている。 ・企画展ごとにアンケート調査やＳＮＳによる投稿から市民のニーズや関心のある分野等を把握分析し、運営に反映させている。 **課題（両課協議）** ・施設の老朽化(Ｒ9年度30周年)による修繕が頻繁している。休館も視野に入れた大規模改修が必要。

6市美術館管理

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R6	大規模改修に向け、Ｒ6年度は改修箇所を確定するための建物劣化調査業務を実施する。	**課題（両課協議）**
	R7	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**
	R8	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**
	R9	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**

6市美術館管理

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	入館者数	人	35,392	34,832 (R6.1末現在)				
(2)	企画展開催回数	回	6	6				
(3)								
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
酒田市美術館の管理運営(指定管理R3～R5) ・展示事業6（特別展示、一般展示） ・美術品保存管理事業 ・教育普及事業 ・酒田市美術館ＰＲ及び広域情報提供事業 ・調査研究業務 ・施設管理運営事業 美術館周辺の松くい虫被害木処理 高橋剛作ブロンズ像メンテナンス(屋外設置3体)	主な普及事業 ・ワークショップ ・子ども絵画展 ・インターンシップ、博物館学芸員実習受入 美術館周辺の松くい虫被害木処理 高橋剛作ブロンズ像メンテナンス(屋外設置3体)

当初予算額	104,345 千円	決算見込み	107,580 千円
主な経費	施設修繕料、美術館施設管理委託料、ブロンズ像維持管理業務委託料		

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
・酒田市美術館の管理運営(指定管理R6～R10) ・大規模改修に向けた建物劣化調査業務委託料 ・施設修繕	

当初予算額	182,977 千円	決算見込み	千円
主な経費	施設修繕料、市美術館・土門拳記念館指定管理委託料ほか		

7.庄内、阿部次郎文化賞

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	庄内文化賞・阿部次郎文化賞顕彰事業	担当課	文化政策課
	予算事業名	庄内文化賞・阿部次郎文化賞顕彰事業		
事業概要		庄内地方の文化及び芸術の振興に寄与するため、顕著な業績を収めた団体・個人を顕彰する。 庄内文化賞(Ｓ54制定)/芸術学術分野において優れた成果を上げた庄内地方在住の個人または団体を懸賞し、庄内地方の芸術文化振興と郷土愛の醸成に寄与するもの。 阿部次郎文化賞(Ｓ59制定)/旧松山町出身哲学者である氏の学者・教育者としての偉大な功績を記念し、同分野において優れた人材を顕彰し、文化芸術振興と郷土愛の醸成に寄与するもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☑ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☑ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	庄内文化賞選考会、阿部次郎文化賞選考会
3 協働者(事業実施者)	1.なし (担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 庄内文化賞選考会(報酬)、阿部次郎文化賞選考会(報酬)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R5		庄内文化賞について、芸術、学術等の分野で優れた業績のあった者に対し顕彰し、庄内地方の芸術文化振興と郷土愛の醸成に寄与した。 **課題（両課協議）** ・阿部次郎については4年連続推薦がいない状況が続いており、今後のあり方について検討が必要。 ・賞金10万円の必要性について検討が必要。

7.庄内、阿部次郎文化賞

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R6	・賞金の必要性について、庄内文化賞選考会や市財政課と協議を行っていく。 ・阿部次郎文化賞について、今後のあり方を選考会、地元松山の関係者、東北大学等の意見を丁寧に聞きながら検討していく。	**課題（両課協議）**
	R7	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**
	R8	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**
	R9	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**

7.庄内、阿部次郎文化賞

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績/目標		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	庄内文化賞受賞者数	団体・人	1	1				
(2)	阿部次郎文化賞受賞者数	団体・人	0	0				
(3)								
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
・第45回庄内文化賞及び第40回阿部次郎文化賞、以下の事業を実施 ・募集の実施 ・選考会の実施 ・授賞式の実施 【特定財源】教育振興基金繰入金603千円	・募集案内 6/22-7/18 ・応募 庄内文化賞/2団体より推薦有り（同一人物） ・選考会 8/17 ・顕彰式 11/2 ・庄内文化賞記念楯、副賞10万円

当初予算額	603 千円	決算見込み	227 千円

主な経費　賞賜金、楯制作委託料等

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
・第46回庄内文化賞及び第41回阿部次郎文化賞、以下の事業を実施 ・募集の実施 ・選考会の実施 ・授賞式の実施 【特定財源】教育振興基金繰入金586千円	

当初予算額	586 千円	決算見込み	千円

主な経費　賞賜金、楯制作委託料等

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	各団体への補助等	担当課	文化政策課
	予算事業名	文化振興総務管理事業		
事業概要		市の芸術文化振興に貢献する文化芸術団体に対し、その安定した運営とより充実した市民への芸術鑑賞の機会提供のため補助を行うもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☑ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☑ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田吹奏楽団、酒田フィルハーモニー管弦楽団、山形交響楽協会
2 関係団体等	酒田市、山形県
3 協働者(事業実施者)	1.なし (担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 酒田吹奏楽団(補助金)、酒田フィルハーモニー管弦楽団(補助金)、山形交響楽協会(負担金)、山形交響楽団庄内定期演奏会酒田公演(負担金※全額県補助対象)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題 (文化政策課)	R5		・各団体は、市内外で数多くの演奏や公演を実施し、中高生への演奏指導やチャリティコンサート、地域行事への出演も積極的に行うなど、地域住民に気軽に音楽に触れる機会を提供している。 **課題（両課協議）** ・各団体の文化芸術活動の推進と、地域に対し積極的に文化芸術と親しむ機会を創出する活動に対し、各団体の活動状況だけではなく運営状況についても把握する必要がある。

8各団体補助等

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題 (文化政策課)	R6	・各団体の事業内容(本市の文化芸術推進への貢献度等)や団体の運営状況等を積極的に把握し、適正な補助金交付行う。	**課題（両課協議）**
	R7	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**
	R8	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**
	R9	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**

8各団体補助等

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)								
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

	◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)		◆実績(担当課記入)	
令和5年度	団体の運営に係る補助金、負担金 ・酒田吹奏楽団、酒田フィルハーモニー管弦楽団/教育支援活動、社会福祉活動、公益活動への取り組みを実施。 ・山形交響楽団庄内定期演奏会第28回酒田公演/県内唯一のプロオーケストラにより市民に上質な音楽鑑賞の機会を提供 ・山形交響楽協会/県内市町村負担割合に応じ負担金を支出		・実績報告書提出後記載	
	当初予算額	1,505 千円	決算見込み	1,575 千円
	主な経費　団体の運営に係る補助金、負担金　※12月補正（負担金）			

	◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)		◆実績(担当課記入)	
令和6年度	団体の運営に係る補助金、負担金 ・酒田吹奏楽団、酒田フィルハーモニー管弦楽団/教育支援活動、社会福祉活動、公益活動への取り組みを実施。 ・山形交響楽団庄内定期演奏会第29回酒田公演/県内唯一のプロオーケストラにより市民に上質な音楽鑑賞の機会を提供 ・山形交響楽協会/県内市町村負担割合に応じ負担金を支出			
	当初予算額	1,575 千円	決算見込み	千円
	主な経費　団体の運営に係る補助金、負担金			

9.スクールプログラム

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	スクールプログラム実施事業	担当課	文化政策課
	予算事業名	～Ｒ5スクールプログラム実施事業 Ｒ6～文化芸術推進事業		
事業概要		子供たちに授業の一環として一度は酒田市美術館及び土門拳記念館において本物と触れ合う機会を与え、学芸員との対話型鑑賞をすることにより多様性を感じ自己肯定感を高めるなど、多様な社会の価値に対する柔軟な考え方や物の見方を育むと同時に郷土愛の醸成につなげるもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☑ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☑ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	公益財団法人さかた文化財団、石の会(教職員退職者の会)
3 協働者(事業実施者)	1.なし (担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 公益財団法人さかた文化財団(協働) 石の会(報酬)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(小中学生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R5		市美術館や土門拳記念館で本物に触れる機会を創出することにより郷土愛の育成につながった。 **課題（両課協議）** ・土門拳記念館(少ない)と酒田市美術館(多い)の実施割合に偏りがある。 ・学芸員の負担が大きい。 ・石の会(協力団体)の高齢化。 ・より多くの児童に届けるため、土門拳記念館、酒田市美術館以外の実施場所の検討も必要。

9.スクールプログラム

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R6	・土門拳記念館では、R5年度に制作した偉人マンガをプログラムに活用する内容とし、写真文化や郷土愛の醸成につなげていく。 ・現在の２館に加え、本間美術館等の文化施設でも実施できないか協議を図る。	**課題（両課協議）**
	R7		**課題（両課協議）**
	R8		**課題（両課協議）**
	R9		**課題（両課協議）**

9.スクールプログラム

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	参加校数（延べ）	校	24	20				
(2)	参加者数	人	1195	972				
(3)	実施回数	回	40	38				
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
酒田市美術館 ・対象/小中学生 土門拳記念館 ・対象/小中学生 ・R5年度より、ボードゲーム「じっくりミレー」を取り入れ実施	・実施期間R5.7/13～R6.3/7 ・酒田市美術館実績 参加校数16校、参加者数894人、実施回数34回 ・土門拳記念館実績 参加校数4校、参加者数78人、実施回数4回

当初予算額	319 千円	決算見込み	319 千円

主な経費　報償金、費用弁償

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
酒田市美術館 ・対象/小中学生 土門拳記念館 ・対象/小中学生 ・ボードゲーム「じっくりミレー」及び偉人マンガ「鬼の眼　土門拳」を取り入れ実施	

当初予算額	328 千円	決算見込み	千円

主な経費　報償費、費用弁償

10.市民アートコーディネート調査研究

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	市民アートコーディネート調査研究業務	担当課	文化政策課
	予算事業名	R５文化芸術推進事業 R６～文化振興総務管理事業		
事業概要		・R４年度文化芸術推進審議会答申(R５.1.13付)、2「文化芸術活動を支える人材の育成について」の実現に向け、東京藝術大学と協定を締結(R5.6.1)、協定に基づいた調査研究業務を委託(R5.6.20)し、多様な分野において求められるつなぐ人材について調査を実施するもの。、		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☑ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☑ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

１事業の実施主体	酒田市
２関係団体等	東京藝術大学
３ 協働者(事業実施者)	1.なし （担当課のみ） 2.あり （委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載） 東京藝術大学(R５委託、R５～協定)
４ 主な受益者	1.全ての市民 （特に力を入れている対象がある場合： ） 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
５ 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R５		様々な分野において求められるつなぐ人材の育成についての調査報告を受け、今後の本市における文化芸術推進にのための方策の参考とすることが出来た。 **課題（両課協議）** ・今年度の調査を活かし、どのように人材の発掘と育成につなげていくか、今後の進め方について検討が必要。

10.市民アートコーディネート調査研究

５ 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R６	課題を受け、工夫したいこと(両課協議) 市民アートコーディネート調査研究で得られた知見を基に、東京藝術大学との協定を活用しながら、市民アートコーディネーターの人材育成や発掘に取り組んでいく。 （R６年度から文化芸術推進事業へ）	評価（両課協議） **課題（両課協議）**
	R７	課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議） **課題（両課協議）**
	R８	課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議） **課題（両課協議）**
	R９	課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議） **課題（両課協議）**

10.市民アートコーディネート調査研究

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)								
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
市民アートコーディネーター調査研究業務委託 ・東京藝術大学から酒田市へ実施者を派遣し、居住しながら調査研究を実施するもの。	・庁内各課長及び関係団体等にインタビューを実施し現状の調査を行った。また先進地における人材育成状況について視察を実施した。 ・インタビュー　庁内19課、3団体、 ・先進地視察　大分県別府市「ベップ・アート・マンス」、八戸市「八戸美術館」

当初予算額	5,317 千円	決算見込み	5,317 千円

主な経費　※6月補正　市民アートコーディネータ調査研究業務委託

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
・先進地視察、打合せに係る旅費 ※R5委託業務実施者を任期付き職員としたため、旅費の計上のみ。	

当初予算額	310 千円	決算見込み	千円

主な経費　旅費

11.芸術家・地域ふれあい事業

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	芸術家・地域ふれあい事業 （文化芸術推進プロジェクト会議）	担当課	文化政策課
	予算事業名	文化芸術推進事業		
事業概要		芸術家を招聘し、酒田に一定期間滞在する中でアウトリーチをはじめとした活動を行うもの 文化芸術に触れる機会の創出を目的としている		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☑ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☑ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	市内小学校、県立酒田特別支援学校
3 協働者(事業実施者)	1.なし（担当課のみ） 2.あり（委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載） 市内小学校、県立酒田特別支援学校、希望ホールレセプショニスト
4 主な受益者	1.全ての市民（特に力を入れている対象がある場合：子ども、障がい児 ） 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳)　成人　高齢者(65歳～)　障がい児者　外国人 3.企業　団体　その他(　　)

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R5		・普段、希望ホールで鑑賞する機会の少ないと思われる子ども、障がい児、未就学児、周辺地域住民に文化芸術を届ける機会を創出した ・特に小学校等でのアウトリーチに関しては全21校で実施し、教員、児童からのアンケート結果が好評であり、学校教育における文化芸術活動の充実に寄与した **課題（両課協議）** ・アウトリーチの内容がクラシック音楽のみに偏っていることや、地元の芸術家の関わりがないことが、子どもたちの鑑賞機会の可能性を狭めている ・小規模なワークショップや集大成となる希望ホール公演といったインリーチ事業が、鑑賞機会の創出という事業目的に対して十分に寄与しなかった

11.芸術家・地域ふれあい事業

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R6	・小学校アウトリーチについてはニーズ調査を行い、多彩なジャンルのメニューを揃えて希望するものを学校側が選択できるようにする ・招聘する芸術家について、地元、あるいは縁のある方々を中心に検討する ・鑑賞しやすい会場の設定や興味を引く内容にするなど、より多くの市民の鑑賞の機会を図る	**課題（両課協議）**
	R7		**課題（両課協議）**
	R8		**課題（両課協議）**
	R9		**課題（両課協議）**

11.芸術家・地域ふれあい事業

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	学校派遣型事業（アウトリーチ） ※～R5は実施コマ数、R6～は実施校数	～R5：回 R6～：校	40	35	/22			
(2)	ワークショップ（インリーチ）	回	9	5				
(3)	地域コンサート（アウトリーチ） ※～R5は実施回数、R6～は来場者数	～R5：回 R6～：人	4	4	/200			
(4)	リサイタル・公演（インリーチ）	回	5	5				
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
国内を代表する下記アーティストが酒田に滞在しての小学校等へのアウトリーチ、アナリーゼワークショップ、地域ワンコインコンサート、希望ホール公演を行う ・喜納雅（テューバ） ・ドゥオール（ピアノデュオ） ・塚越慎子（マリンバ） ・礒絵里子（ヴァイオリン） ・椿三重奏団（ピアノ・ヴァイオリン・チェロ）	・アウトリーチ事業：22校　35コマ　782人参加 ・アナリーゼワークショップ：5回　167人参加 ・地域ワンコインコンサート：4回　586人参加 ・希望ホール公演：5回　1,202人

当初予算額	14,188 千円	決算見込み	12,562 千円

主な経費　公演料、費用弁償、宣伝印刷費

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
地元芸術家、又は縁のある芸術家を招聘し、下記の多彩なジャンルによる小学校等へのアウトリーチ、地域コンサートを行う ・ヴィタリ・ユシュマノフ（声楽）：地域コンサートあり ・小林真人（ピアノ・作曲）：地域コンサートあり ・菊池将晃（ダンス） ・庄内能楽館（能・狂言） ・酒田三曲協会（邦楽）	

当初予算額	8,005 千円	決算見込み	千円

主な経費　公演料、費用弁償

12.人材育成事業

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	人材育成事業 （文化芸術推進プロジェクト会議）	担当課	文化政策課
	予算事業名	文化芸術推進事業		
事業概要		主に市民を対象に、創造・表現活動の担い手や、その活動・公演等を支える人材など、広く文化芸術活動に携わる人材の育成を行う		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☑ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☑ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☑ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	希望ホールレセプショニスト、ミライニ、学校等
3 協働者(事業実施者)	1.なし （担当課のみ） 2.あり （委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載） レセプショニスト研修講師、ミライニ
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R5		・一流のピアニストによるレッスン事業、プロの演出家による演劇ワークショップ、レセプショニスト養成講座及び公演対応といったバラエティあるラインナップで人材育成に寄与した **課題（両課協議）** ・レセプショニスト募集に関しては特にターゲットとなりえる層への周知が足りず応募者が少なかった ・ピアノレッスンは県外も含めた関係施設や、市内ピアノ教室などに周知したが参加者の確保に苦慮したため、その結果からニーズそのものが高くなかった可能性が考えられる

12.人材育成事業

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R6	・レセプショニストの募集に関しては、ダブルワークなどの仕事を切り口とした告知方法から、文化芸術業界に興味のある方へ訴求する周知方法に軌道修正する ・ゼロから参加者を募集する研修だけでなく、ある程度ターゲットを定めた人材育成の取組についても検討する ・ミライニと連携し中学生、高校生等による文化芸術活動を支援する	**課題（両課協議）**
	R7		**課題（両課協議）**
	R8		**課題（両課協議）**
	R9		**課題（両課協議）**

12.人材育成事業

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	レセプショニスト養成講座	～R5：回 R6～：人	11	4	/10			
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
・レセプショニスト養成講座（講師：サントリーパブリシティサービス㈱、全6回） ・ピアノレッスン（講師：高橋多佳子氏） ・高校生演劇ワークショップ（講師：田上豊氏）	・レセプショニスト養成講座：4回　延べ37人参加 ・ピアノレッスン：6人参加 ・高校生演劇ワークショップ：21人参加

当初予算額	5,616 千円	決算見込み	2,744 千円

主な経費　謝金、費用弁償、公演料

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
・レセプショニスト養成講座（講師：サントリーパブリシティサービス㈱、全3回） ・学芸員育成研修（講師：未定、市内文化施設学芸員が対象） ・市内の中学校、高校等からミライニに寄せられた学生が主体となって実施する文化芸術関係の取組についての情報を共有し、その実施に向けて連携する	

当初予算額	2,358 千円	決算見込み	千円

主な経費　委託料、謝金

13.いいいろいろいろ展

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	いいいろいろいろ展 （文化芸術推進プロジェクト会議）	担当課	文化政策課
	予算事業名	文化芸術推進事業		
事業概要		障がい者の文化芸術活動の発表の機会を提供するとともに、広く市民に多様なアートの魅力を発信するために障がい者アート展を開催するもの		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☑ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☑ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

１事業の実施主体	酒田市
２関係団体等	市内福祉事業所、県立酒田特別支援学校
３ 協働者(事業実施者)	1.なし （担当課のみ） 2.あり （委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載） （社福）酒田市社会福祉協議会、酒田市美術館、やまがたアートサポートセンターら・ら・ら 佐藤真生氏（画家）
４ 主な受益者	1.全ての市民 （特に力を入れている対象がある場合：障がい者 ） 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳)　成人　高齢者(65歳～)　障がい児者　外国人 3.企業　団体　その他(　　)

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
５ 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R5		・昨年度比で会期は1日短縮したが来場者数は上回り、アンケートの結果からも本事業の認知度が向上していることがわかった ・出展事業所からも入所者の作品の発表の場としての本アート展について好評を得た **課題（両課協議）** ・入所者の保護者から会期の延長を望む声が寄せられた ・事業所からは作品展示に関する以外の負担や役割を求められることへの懸念が示された ・来場者数は増加したが出展者の家族や関係者が多く、一般への広がりという視点からは改善の余地が多分にある

13.いいいろいろいろ展

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
５ 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R6	・会期延長を含め、他会場での展示など、より多くの市民に本アート展に触れてもらう機会を作るため関係機関等と調整しながら実施する ・事業所や入所者の日常を侵さない範囲で、多様なアートの魅力をより多くの人に知っていただくという本アート展の趣旨や目的に寄与する事業を検討し実施していく	課題（両課協議）
	R7	課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議） 課題（両課協議）
	R8	課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議） 課題（両課協議）
	R9	課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議） 課題（両課協議）

13.いいいろいろいろ展

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	入場者数	人	716	754	/800			
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
市内福祉事業所や特別支援学校に通う方々などが制作した絵画、書道作品、造形物などのアート作品の展示を行う 会期：令和5年9月22日（金）～28日（木） 会場：出羽遊心館	入場者数：754人 出展作品数：約160点 出展者数：17団体　8個人 企画：「アートな缶バッチを作ろう」

当初予算額	1,167 千円	決算見込み	868 千円

主な経費　委託料、宣伝印刷費

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
市内福祉事業所や特別支援学校に通う方々などが制作した絵画、書道作品、造形物などのアート作品の展示を行う 企画内容や今後の方向性の検討にあたっては佐藤真生氏から関わっていただく中でその知見を得る。 会期：令和6年9月20日（金）～29日（日）の間 会場：出羽遊心館 また上記に加え、ミライニでの作品展示についても検討、調整を行う	

当初予算額	2,670 千円	決算見込み	千円

主な経費　委託料、謝金

14.東京藝大との連携事業

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 / 新規				
継続 新規	事務事業名	東京藝術大学との連携事業（仮） （文化芸術推進プロジェクト会議）	担当課	文化政策課
	予算事業名	文化芸術推進事業		
事業概要		東京藝術大学との協定に基づき、市民アートコーディネート調査研究で得られた知見を活用しながら連携した事業を行うもの		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☑ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☑ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☑ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	東京藝術大学
3 協働者(事業実施者)	1.なし（担当課のみ） 2.あり（委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載） 東京藝術大学
4 主な受益者	1.全ての市民（特に力を入れている対象がある場合： ） 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
	R5		
			課題（両課協議）
	R6	・市民アートコーディネート調査研究で得られた知見を活かしながら、アートプロジェクトへの支援のあり方や市民アートコーディネーターの育成に関する事業について東京藝術大学と検討し実施する	
			課題（両課協議）
	R7		
			課題（両課協議）
	R8		
			課題（両課協議）
	R9		
			課題（両課協議）

14.東京藝大との連携事業

14.東京藝大との連携事業

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	事業内容によるため未定		-	-				
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
当初予算額 千円	決算見込み 千円
主な経費	

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
市民アートコーディネート調査研究で得られた知見を活かしながら、アートプロジェクトへの支援のあり方や市民アートコーディネーターの育成に関する事業を実施する 具体的な事業内容は東京藝術大学と検討を進めながら決定する	
当初予算額 3,000 千円	決算見込み 千円
主な経費　委託料	

15.鑑賞事業

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	鑑賞事業 （文化芸術推進プロジェクト会議）	担当課	文化政策課
	予算事業名	文化芸術推進事業		
事業概要		主催又は共催により希望ホールで公演を開催し、多くの市民に文化芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、希望ホールを身近に感じてもらうことでその活用促進を図るもの		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☑ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☑ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市及び公演主催事業者等
2 関係団体等	民間プロモーター、イベンター、TV局等
3 協働者(事業実施者)	1.なし（担当課のみ） 2.あり（委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載） 民間プロモーター、イベンター、TV局等
4 主な受益者	1.全ての市民（特に力を入れている対象がある場合： ） 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R5		・宝くじ文化公演を開催し、近年少なかったポップス系コンサートということもあり即日完売するなど賑わいに寄与するとともに、市民ニーズの高さを認識することができた ・その他、人気のソリストが出演するオーケストラや、TV出演しているピアニストのコンサートが満席となり、多くの人に来館してもらう機会となった **課題（両課協議）** ・ポップス系のコンサートが上記の1件のみで、大半の公演がクラシック音楽に偏ったため、多彩なジャンルの公演を開催することでより多くの市民に希望ホールに訪れてもらう機会を作る必要がある

15.鑑賞事業

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R6	・ポップス系音楽、クラシック音楽、演劇、子どもやファミリー層向けの催し、エンタメ系などバラエティに富んだ公演の開催を目指し、プロモーターとの交渉や調整を行う	**課題（両課協議）**
	R7		**課題（両課協議）**
	R8		**課題（両課協議）**
	R9		**課題（両課協議）**

15.鑑賞事業

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	来場者数	人	3,658	7,000	/8,000			
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
・宝くじ文化公演（ポップス公演） ・酒田共同火力創立50周年記念仙台フィルスペシャルコンサート ・オーケストラ（2公演） ・ピアノコンサート（1公演） ・ダンス公演（1公演） ・歌舞伎（1公演）	・宝くじ文化公演 青春輝きﾗｲﾌﾞ1990：1,183人 ・酒田共同火力創立50周年記念 仙台ﾌｨﾙｽﾍﾟｼｬﾙｺﾝｻｰﾄ：1,287人 ・新日本ﾌｨﾙﾊｰﾓﾆｰ交響楽団酒田公演：556人 ・花王ﾌｧﾐﾘｰｺﾝｻｰﾄ in 酒田：1,150人 ・清塚信也 ｺﾝｻｰﾄﾂｱｰ2023：1,180人 ・大駱駝艦 天賦典式「ｸﾚｲｼﾞｰｷｬﾒﾙ」酒田公演：171人 ・中村勘九郎 七之助 錦秋特別公演：1,600人 ・辻彩奈×佐藤晴真×藤田真央 ﾋﾟｱﾉﾄﾘｵｺﾝｻｰﾄ：〇人
当初予算額 3,625 千円	決算見込み 1,700 千円
主な経費　共催事業費（負担金、会場借上料）、チケット販売手数料	

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
・希望いっぱいコンサート ・ミュージカル（情報公開前） ・Novelbright LINE TOUR 2024 ～CIRCUS～ ・南こうせつｺﾝｻｰﾄﾂｱｰ2024 ～神田川～ ・ｴｲﾌﾙ企画主催公演（情報公開前） ・さくらんぼテレビ主催公演（情報公開前） ・オーケストラ（情報公開前） ・山形テレビ主催公演（情報公開前） ・山形放送主催公演（情報公開前）	
当初予算額 6,290 千円	決算見込み 千円
主な経費　負担金、会場借上料、チケット販売手数料	

16.アートプロジェクト活動支援補助金

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	アートプロジェクト活動支援補助金	担当課	文化政策課
	予算事業名	文化芸術推進事業		
6		市民の自由な発想と自発的な意志に基づいた文化芸術活動により酒田市文化芸術推進計画を一層推進するため、計画の趣旨に沿った活動を対象に補助金を交付するもの		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☑ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☑ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	酒田市文化芸術推進プロジェクト会議
3 協働者(事業実施者)	1.なし (担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 酒田市文化芸術推進プロジェクト会議
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R5		課題（両課協議）

16.アートプロジェクト活動支援補助金

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R6	・酒田市文化芸術推進計画の基本的施策又は重点的視点に沿った事業を対象とし、計画の推進を担保する ・交付決定にあたってはプロジェクト会議の審査を経ることとし市民や民間の視点を取り入れていく	課題（両課協議）
	R7	課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
			課題（両課協議）
	R8	課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
			課題（両課協議）
	R9	課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
			課題（両課協議）

16.アートプロジェクト活動支援補助金

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	申請受理数	件	-	-	/2			
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
当初予算額 千円	決算見込み 千円
主な経費	

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
市民の自由な発想と自発的な意志に基づいた文化芸術活動により酒田市文化芸術推進計画を一層推進するため、計画の趣旨に沿った活動を対象に補助金を交付する ◆対象事業は以下の通り ・計画の基本的施策20項目のいずれかに該当する事業 ・計画の重点的視点である「文化芸術による社会課題の解決」「子どもたちを対象にした文化芸術事業の充実」のいずれかに寄与する事業 ・市内で実施する事業 ◆補助率　対象経費の2/3(上限50万円)	
当初予算額 1,000 千円	決算見込み 千円
主な経費　補助及び交付金	

17文化資料館

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	～R５文化資料館(仮称)整備事業 R６～文化資料館管理運営事業	担当課	文化政策課
	予算事業名	～R５文化資料館(仮称)整備事業 R６～文化資料館管理運営事業		
事業概要		・資料館・光丘文庫・公文書館・市史編纂の機能を持つ「過去にあった酒田の出来事（行政を含む）や文化を未来に伝えるための総合施設」を整備し、その運営及び施設管理を適切に行い、資料の利活用の推進及び利便性の向上を図るもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☑ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☑ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

１事業の実施主体	酒田市
２関係団体等	
３ 協働者(事業実施者)	1.なし (担当課のみ) 2.あり （委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載）
４ 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳)　成人　高齢者(65歳～)　障がい児者　外国人 3.企業　団体　その他( )

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
５ 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R５		・開館に向けて計画的に整備を進めた。 ・複数施設で実施していた機能を集約することにより、本市の歴史や文化資料を一括管理・公開が可能とする環境を整備した。
			課題（両課協議）
			・各施設から所蔵資料を集約したが、資料の整理まで至っていない。 ・各施設の所蔵資料台帳(紙、エクセル)が整っていない状況のため、統一したシステムによる管理が必要。

17文化資料館

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
５ 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R６	・常設展示及び企画展示について、開館までの準備期間が短期間となるため、展示をするために必要な事項と課題を洗い出すとともに、関係者でスケジュールを共有しながら、必要な対応が漏れないよう準備を進めていく。 ・顧問や協議会委員の意見等を頂きながら、統合前の各施設等での運営にとらわれない新しい運営体制を確立する。 ・所蔵資料の台帳整理を進めるとともに、令和８年度からの所蔵品管理等システム導入を検討してく。	
			課題（両課協議）
	R７	課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
			課題（両課協議）
	R８	課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
			課題（両課協議）
	R９	課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
			課題（両課協議）

17文化資料館

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	文化資料館入場者数	人						
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
令和６年度オープンに向けての開館準備 ・改修工事(総合文化センター旧図書館跡地) ・資料館、光丘文庫等からの資料移転、収納 ※都市構造再編集中支援事業補助金(補助率50%)	令和６年度の開館に向け、改修工事を実施するとともに、資料館、光丘文庫等からの資料等の移転を実施した。また、館の運営に必要な備品（軽量棚、移動式展示ケース、アクリル展示台、パーテーション等）を購入するとともに、館内での庁内無線LAN環境を整備した。

当初予算額	155,631 千円	決算見込み	152,255 千円

主な経費　工事費、備品購入費、資料運搬委託料等

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
・文化資料館の管理・運営に関する経費 ・文化資料館の円滑な運営を図るための運営協議会開催 ・年間5回の企画展示実施 ・文化財、歴史等に精通した顧問委嘱に係る経費 ・光丘文庫時代に整備したデジタルアーカイブに係る経費 ・市史販売業務に係る経費	

当初予算額	4,836 千円	決算見込み	千円

主な経費　施設管理委託料、使用料等

18旧鐙屋修復

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	史跡旧鐙屋修復事業	担当課	文化政策課
	予算事業名	史跡旧鐙屋修復事業		
事業概要		国指定史跡「旧鐙屋」は、修理工事から20年が経過したことから、雨漏りや耐震性がなく地震で倒壊の恐れもあるため、修復工事(屋根の大規模修繕及び耐震補強工事)を実施し、安全な環境整備を図るもの。【事業期間:平成28～令和8年度予定】		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☑ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☑ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	指導委員会(文化庁と有識者から構成)
3 協働者(事業実施者)	1.なし (担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 指導委員会(報酬)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R5		・計画的に修復工事を実施した。 ・市民等を対象にしたワークショップを実施し、旧鐙屋の歴史的価値の保存及び地域の歴史や文化を尊ぶ心を醸成し、郷土愛にあふれた人材育成を図った。 **課題（両課協議）** ・文化庁の補助を受けての工事であるため、事業完了までの期間が補助金の交付状況に左右されてしまうことから、工事に伴う閉館期間の長期化が課題となっている。

18旧鐙屋修復

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R6	・文化庁、山形県担当課との連携を密にし、補助金の確保につなげていく。 ・工事に伴う閉館期間中においても、旧鐙屋の存在を市民等に認識してもらうため、ワークショップを継続して実施していく。	**課題（両課協議）**
	R7		**課題（両課協議）**
	R8		**課題（両課協議）**
	R9		**課題（両課協議）**

18旧鐙屋修復

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	ワークショップ参加人数	人		33				
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
指導委員会の指導を受けながら実施する。 (H28年度～R7年度予定) 令和５年度 直接仮設工事、屋根工事、木工事、西側下屋軸組補修 ※(国)文化財保存事業費補助金、(県)文化財保存事業費補助金、旧鐙屋修復事業支援寄附金(ガバメントクラウドファンディング)	・指導委員会を設立し、２回の委員会を実施して有識者からの意見を頂いた。 ・修復工事については、予定どおり完了した。

当初予算額	45,142 千円	決算見込み	44,424 千円

当初予算額　工事費、工事監理委託料等

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
・指導委員会年2回開催 ・屋根改修、耐震補強工事、木工事(床組、根太、床間、押入、廻縁、長押の復旧)の実施 ・工事監理と令和7年度施行内容の設計に係る業務委託・指導委員会の設置 【特定財源】 （国）文化財保存事業費補助金、（県）文化財保存事業費補助金	

当初予算額	107,209 千円	決算見込み	千円

主な経費　工事費、工事監理業務委託料

19旧鐙屋環境整備

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	史跡旧鐙屋環境整備事業	担当課	文化政策課
	予算事業名	史跡旧鐙屋環境整備事業【R5のみ】		
事業概要		旧鐙屋の史跡指定地内の松は、倉庫として使用されていた不安定なコンテナに寄りかかっており、指定地内の安全性の向上と松の保存を図るために支柱を設置するもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☑ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☑ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

１事業の実施主体	酒田市
２関係団体等	
３ 協働者(事業実施者)	1.なし (担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載)
４ 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
５ 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R5		国指定史跡旧鐙屋の指定地内の安全な環境整備を図ることにより、旧鐙屋の歴史的価値の保存に寄与した。 **課題（両課協議）** 松の木の支柱については、定期的な状況の確認と必要に応じたメンテナンスが必要になるため、注視する必要がある。

19旧鐙屋環境整備

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
５ 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R6		評価（両課協議） 課題（両課協議）
	R7		評価（両課協議） 課題（両課協議）
	R8		評価（両課協議） 課題（両課協議）
	R9		評価（両課協議） 課題（両課協議）

19旧鐙屋環境整備

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)								
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)		◆実績(担当課記入)	
	指定地内の松の木への支柱設置 ※(国)文化財保存事業費補助金、(県)文化財保存事業費補助金		当初予定していた内容からの変更はあったが、指定地内の松の木への支柱設置について完了した。	
	当初予算額	5,103 千円	決算見込み	5,103 千円
	当初予算額　工事費等			

令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)		◆実績(担当課記入)	
	当初予算額	千円	決算見込み	千円
	主な経費			

20文化財管理

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	文化財管理事業	担当課	文化政策課
	予算事業名	～R5文化財施設管理事業 R6～文化財管理事業		
事業概要		地域の貴重な財産であり観光資源でもある文化財を適切に管理し、有効活用を図るとともに、市民が文化財への理解を深められるように環境整備を行うもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☑ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☑ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	運営協議会、まちづくりネット松山
3 協働者(事業実施者)	1.なし（担当課のみ） 2.あり（委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載） 運営協議会(報酬)、まちづくりネット松山(松山文化伝承館指定管理)
4 主な受益者	1.全ての市民（特に力を入れている対象がある場合： ） 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳)　成人　高齢者(65歳～)　障がい児者　外国人 3.企業　団体　その他( )

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R5		市内文化財及び文化財施設を良好な状態で保存管理し、市民、観光客等に公開、観覧できるようにするため、施設を維持管理した。 **課題（両課協議）** 貴重な文化財や歴史資料の散逸を防ぐとともに、適正に管理保存し、展示する機会を設けることにより、多くの市民への文化財保護の重要性をＰＲし、理解を深めていくことが課題。

20文化財管理

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R6	・各文化財施設等のPRについて、新たに開館する文化資料館とも連携しながら工夫して実施していきたい。 ・旧白崎医院については令和５年度に外観修復を行ったが、旧光丘文庫については目途が立っていないため、旧光丘文庫を含む昔からの町割を残す区域を重要文化的景観に指定して国の補助を得ることも検討していきたい。	**課題（両課協議）**
	R7	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**
	R8	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**
	R9	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**

20文化財管理

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	松山文化伝承館年間入館者数	人	4,547	4686				
(2)	阿部記念館年間入館者数	人	12	155				
(3)	旧阿部家年間入館者数	人	2,741	1536				
(4)	旧白崎医院	人	1,855	881 (R5.7月～休館)				
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
・酒田市立資料館の維持管理と企画展開催及び館の円滑な運営を図るための協議会の開催 ・松山文化伝承館の円滑な運営を図るための協議会の開催 ・旧鳥海小の維持管理 ・市指定文化財施設(旧白崎医院、旧阿部家)の利活用と維持管理 ・阿部記念館の維持管理 ・酒田町奉行所跡、城輪の柵跡、堂ノ前・八森遺跡の維持管理 ・旧白崎医院外壁改修工事	・郷土資料の収集、展観 ・同上の整理、保管 ・施設の維持管理 ・資料館の企画展の開催 ・文化財施設の活用

当初予算額	58,651 千円	決算見込	58,864 千円

主な経費　施設管理委託料、工事費等

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
・松山文化伝承館の円滑な運営を図るための協議会の開催 ・旧鳥海小の維持管理 ・市指定文化財施設(旧白崎医院、旧阿部家)の利活用と維持管理 ・阿部記念館の維持管理 ・酒田町奉行所跡、城輪柵跡、堂ノ前・八森遺跡の維持管理	

当初予算額	16,133 千円	決算見込	千円

主な経費　施設管理委託料、修繕料等

21文化財保存活動支援

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	文化財保存活動支援、国指定文化財管理補助	担当課	文化政策課
	予算事業名	～Ｒ５文化財保護総務管理事業 R6～文化財保護事業		
事業概要		・市内文化財及び文化財施設を良好な状態で保存管理し、市民、観光客等に公開、閲覧できるようにするため施設を維持管理する。 ・国指定文化財である名勝庭園の荒廃防止を図る。 ・地域団体の民俗芸能の伝承、技術の継承の機会の確保するもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☑ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☑ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

１事業の実施主体	酒田民俗芸能保存会　松山藩荻野流砲術伝承保存会、黒森歌舞伎伎妻堂連中、松山能「松諷社」、総光寺、本間美術館
２関係団体等	文化財保護審議会
３ 協働者(事業実施者)	1.なし（担当課のみ） 2.あり（委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載） 酒田民俗芸能保存会(補助金)、松山藩荻野流砲術伝承保存会(補助金)、黒森歌舞伎伎妻堂連中(委託)、松山能「松諷社」(委託)、総光寺(補助金)、本間美術館(補助金)、文化財保護審議会(報酬)
４ 主な受益者	1.全ての市民（特に力を入れている対象がある場合：　） 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳)　成人　高齢者(65歳～)　障がい児者　外国人 3.企業　団体　その他（　）

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
５ 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R5		民俗芸能の伝承及び技術の継承の機会の確保や名勝庭園等の環境整備に対し支援を行った。 **課題（両課協議）** 民俗芸能団体は、コロナ禍期間中に活動の機会が減少し、また地域によっては住民の民俗芸能へのかかわり方の意識にも変化が見られることから、活動の場が減少傾向にある。また、笛の担い手の育成が難しいなど育成や人材確保の面での課題も多い。

21文化財保存活動支援

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
５ 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R6	・民俗芸能フェスタの開催により団体の活動の場を確保するとともに、担い手を育成するための取り組みを検討するとともに実施していく。	**課題（両課協議）**
	R7		**課題（両課協議）**
	R8		**課題（両課協議）**
	R9		**課題（両課協議）**

21文化財保存活動支援

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	民俗芸能フェスタ入館者数	人	168	223				
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
・城輪柵跡、酒田町奉行所等文化財関連施設の維持管理 ・文化財保護審議会の開催 ・全国史跡整備市町村協議会活動の参加 ・文化財説明版・標柱整備等の広報活動 ・試掘等の埋蔵文化財調査費 ・文化財保存活動支援事業費補助金の交付 山形県文化財保護協会負担金 全国史跡整備市町村協議会負担金 山形県史跡整備市町村協議会負担金 文化財保存活動支援事業費補助金 国指定文化財管理事業費補助金 ・黒森歌舞伎酒田公演及び松山能公演委託	城輪柵跡、酒田町奉行所などの文化財関連施設の維持管理 文化財保護審議会の開催（２回） 全国史跡整備市町村協議会活動の参加 文化財説明版・標柱整備などの修繕 試掘等の埋蔵文化財調査の実施 黒森歌舞伎酒田公演及び松山能公演の委託 文化財保存活動支援、国指定文化財管理補助の実施

当初予算額	9,133 千円	決算見込み	9,337 千円

主な経費　役務費・借上料(試掘関係)、補助金、委託料等

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
・文化財保護審議会の開催 ・全国史跡整備市町村協議会活動の参加 ・文化財説明版・標柱整備等の広報活動 ・試掘等の埋蔵文化財調査費 ・文化財保存活動支援事業費補助金の交付 ・山形県文化財保護協会負担金 全国史跡整備市町村協議会負担金 山形県史跡整備市町村協議会負担金 文化財保存活動支援事業費補助金 国指定文化財管理事業費補助金 ・黒森歌舞伎酒田公演委託料 ・飛島ウミネコ繁殖地再生に係る経費	

当初予算額	9,655 千円	決算見込み	千円

主な経費　役務費・借上料(試掘関係)、補助金等

22光丘文庫

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	光丘文庫管理事業	担当課	文化政策課
	予算事業名	～R5光丘文庫管理事業 R６～文化資料館管理運営事業へ		
事業概要		光丘文庫の運営に係る経常的経費		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☑ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☑ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

１事業の実施主体	酒田市
２関係団体等	
３ 協働者(事業実施者)	(1.なし)(担当課のみ) 2.あり（委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載）
４ 主な受益者	(1.全ての市民)（特に力を入れている対象がある場合：　） 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳)　成人　高齢者(65歳～)　障がい児者　外国人 3.企業　団体　その他(　)

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
５ 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R５		光丘文庫の運営及び旧光丘文庫の維持管理について、適切に実施した。 **課題（両課協議）** ・文化資料館への統合後の資料の活用 ・旧光丘文庫の外観保存の在り方の検討

22光丘文庫

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
５ 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R６	Ｒ６～文化財管理事業及び文化資料館管理運営事業へ記載	**課題（両課協議）**
	R７		**課題（両課協議）**
	R８		**課題（両課協議）**
	R９		**課題（両課協議）**

22光丘文庫

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)								
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
・光丘文庫の管理運営 ※文化資料館(仮称)開館準備に伴いR5.9.30閉館 ・光丘文庫資料データベース、デジタルアーカイブの適切な管理運営 ・旧光丘文化の施設管理 ・館報「光丘」発行	・光丘文庫報「光丘」の編集・印刷製本及び配布 ・旧光丘文庫の施設管理委託（清掃、警備、消防設備点検、自家用電気工作物） ・光丘文庫資料データベース、デジタルアーカイブの管理運営 ・光丘文庫所蔵資料の市指定文化財「病間雑抄 第三冊」の修復 ・古文書等の資料購入

当初予算額	2,280 千円	決算見込み	2,280 千円
主な経費	施設管理委託料等		

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
R6～文化資料館管理運営事業へ記載	

当初予算額	千円	決算見込み	千円
主な経費			

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	山居倉庫整備基本計画策定事業	担当課	R５都市デザイン課 R６～文化政策課
	予算事業名	山居倉庫整備基本計画策定事業		
事業概要		・令和4年度に策定した山居倉庫保存活用計画を基に国指定史跡山居倉庫の来訪者へ史跡の本質的価値を正しく伝え、史跡の保全と次世代への継承を図り、史跡の特色を活かした整備を目指すため、史跡山居倉庫整備基本計画を策定する。【令和5～6年度2か年】		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☑ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☑ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	策定委員会
3 協働者(事業実施者)	1.なし（担当課のみ） 2.あり（委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載） 策定委員会(報酬)
4 主な受益者	1.全ての市民（特に力を入れている対象がある場合： ） 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳)　成人　高齢者(65歳～)　障がい児者　外国人 3.企業　団体　その他( )

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R5		・令和5年度に定めるべき項目について課題が多数あり、意見を集約するまでに至らなかった。 **課題（両課協議）** ・令和5年度業務の進捗が滞ったため、今後の進め方について関係者との協議が必要。

23山居基本計画

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R6	・令和６年度は、文化庁、有識者等との連携を密にし、課題を洗い出しその課題解決に向けた内容に絞り、会の運営を図っていく。 ・建築物耐震診断及び地盤調査の実施については、文化庁や山形県担当者と事前に十分な協議を行い、手戻りの無いよう実施していく。	**課題（両課協議）**
	R7	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**
	R8	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**
	R9	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**

23山居基本計画

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)								
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)		◆実績(担当課記入)	
山居倉庫整備基本計画の策定 ・策定委員会、年3回(R５.7月、11月、R6.2月)開催 ※(国)文化財保存事業費補助金、(県)文化財保存事業費補助金		学識経験者よりそれぞれの分野から意見をいただくための策定委員会を年3回実施し、以下の内容について協議を行ったが、さまざまな課題があり、年度内に意見集約まで至らなかった。 ・計画策定の経過、目的、計画地の現状、史跡等の概要及び現状と課題、基本方針、整備基本計画（全体計画及び地区区分計画、遺構保存に関する計画、歴史的建造物・石垣・庭園等修復に関する計画、動線計画、地形造成に関する計画）	
当初予算額	5,000 千円	決算見込み	3,345 千円
主な経費　委託料、報酬等　3月補正後予算額4,332千円（計画策定支援委託料請け差）			

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)		◆実績(担当課記入)	
・策定委員会を年2回開催予定 ・計画策定に必要な基礎データを得るため、耐震診断及び地盤調査を実施 【特定財源】（国）文化財保存事業費補助金、 （県）文化財保存事業費補助金			
当初予算額	22,522 千円	決算見込み	千円
主な経費　策定支援業務委託料等			

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	山居倉庫整備事業【R6新規】	担当課	文化政策課
	予算事業名	山居倉庫整備事業【R6新規】		
事業概要		国指定史跡「山居倉庫」を適切に保存・活用するための施設整備を行う。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☑ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☑ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☑ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	
3 協働者(事業実施者)	1.なし (担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R5		課題（両課協議）

24山居整備

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R6	・自動火災報知設備整備及びケヤキ並木樹勢回復の実施について、文化庁や山形県担当者と事前に十分な協議を行い、手戻りの無いよう実施していく。 ・山居倉庫のシンボルである欅並木の樹勢回復については、特に衰えの見られる範囲から実施し、その効果の検証を図る。	課題（両課協議）
	R7	を	評価（両課協議） 課題（両課協議）
	R8	課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議） 課題（両課協議）
	R9	課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議） 課題（両課協議）

24山居整備

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)								
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)

当	千円	決算見込み	千円

主な経費

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
①自動火災報知設備整備 ・取得した建物への自動火災報知設備の新設 ②ケヤキ並木樹勢回復整備 ・特に衰えの見られる範囲（1号棟から3号棟）を先行して実施 ③電源改修（設計） ・同一敷地で2か所から受電している状態の解消に係る工事 【特定財源】（国）文化財保存事業費補助金 、(県)文化財保存事業費補助金	

当初予算額	25,574 千円	決算見込み	千円

主な経費　工事費、委託料等

25山居管理

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	山居倉庫施設管理事業	担当課	R５都市デザイン課 R６～文化政策課
	予算事業名	山居倉庫施設管理事業		
事業概要		令和5年度に取得する国指定史跡「山居倉庫」を適切に維持管理することにより山居倉庫の歴史的価値の保存及び地域の歴史や文化を尊ぶ心を醸成し、郷土愛にあふれた人材を育成する。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☑ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☑ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☑ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

１事業の実施主体	酒田市
２関係団体等	
３ 協働者(事業実施者)	(1.なし)(担当課のみ) 2.あり（委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載）
４ 主な受益者	(1.全ての市民)（特に力を入れている対象がある場合：　） 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳)　成人　高齢者(65歳～)　障がい児者　外国人 3.企業　団体　その他(　)

５ 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
	R５		課題（両課協議）

25山居管理

５ 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
	R６	・山居倉庫を安全に維持できるよう、見回り点検や維持管理に努め、市民の文化資源の誇りの醸成につなげていくとともに、施設整備の進捗状況に合わせ随時見直しを行っていく。	課題（両課協議）
	R７	課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
			課題（両課協議）
	R８	課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
			課題（両課協議）
	R９	課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
			課題（両課協議）

25山居管理

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)								
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
当初予算額 千円	決算見込み 千円
主な経費	

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
山居倉庫1～10号棟、事務所棟、研究室、トイレ等の維持管理を行う	
当初予算額 12,856 千円	決算見込み 千円
主な経費 修繕料、施設管理委託料等	

26生涯学習施設

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	生涯学習施設管理運営事業	担当課	社会教育課
	予算事業名	生涯学習施設管理運営事業		
事業概要		生涯学習施設の適切な管理運営を行い、安全で使いやすいニーズにあった施設管理を行うことで、市民の社会教育・生涯学習の推進を図るもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☑ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☑ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市(教育委員会)
2 関係団体等	
3 協働者(事業実施者)	1.なし (担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R5		予算の範囲内で施設の修繕・整備を行い、文化芸術活動を行う環境の維持向上・改善を図った。 **課題（両課協議）** 各施設の老朽化が進み、修繕費等がそれに追いつけていない状況。そのための予算の確保が課題。 また、高齢化による活動の縮小が進んでいることに加え、コロナ禍の影響がいまだに波及していることから、利用者が減少している。

26生涯学習施設

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議） 課題（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R6	限りある財源の中で、今後の施設の利活用や廃止、用途の変更等の検討を行い、利用者が安全で利用しやすい施設を目指し、適正な管理運営を図っていく。	
	R7		
	R8		
	R9		

26生涯学習施設

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)								
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
生涯学習施設の管理運営 ・総合文化センター ・清亀園 ・出羽遊心館 ・天体観測館 ・公益研修センター ・ひらた生涯学習センター ・ひらた農村コミュニティカレッジ ・八森窯体験学習施設	生涯学習施設の管理運営 ・総合文化センター ・清亀園 ・出羽遊心館 ・天体観測館 ・公益研修センター ・ひらた生涯学習センター ・ひらた農村コミュニティカレッジ ・八森窯体験学習施設

当初予算額	138,578 千円	決算見込み	134,870 千円
主な経費	各種管理委託料、光熱水費、修繕費等		

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
生涯学習施設の管理運営 ・総合文化センター ・清亀園 ・出羽遊心館 ・旧天体観測館 ・公益研修センター ・ひらた生涯学習センター ・ひらた農村コミュニティカレッジ ・八森窯体験学習施設	

当初予算額	154,539 千円	決算見込み	千円
主な経費	各種管理委託料、光熱水費、修繕費等		

27ステップ、すくすく

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	①幼児すてっぷ出前講座②親子ですくすく出前講座	担当課	社会教育課
	予算事業名	生涯学習推進講座開催事業		
事業概要		自己の充実、生活の向上、豊かな人生を送るための講座や地域人材を育成する講座を開催する。 ①幼児期に「遊び」を通して人間形成の基礎を培うもの。 ②親子でのふれあい体験や保護者の学ぶ機会の提供を行い、家庭教育支援の充実を図るもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☑ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☑ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市(教育委員会)
2 関係団体等	保育園、認定こども園、幼稚園
3 協働者(事業実施者)	1.なし (担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(未就学児・未就学児と保護者) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ( )

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R5		①② 利用者は前年度に比べ増加し、未就学児及びその保護者に対して文化芸術に親しむ機会を提供できた。 ②R5年度は、これまでの保育園等に加え、児童発達支援センターはまなし学園でも実施できた。 **課題（両課協議）** ①市内の未就学児等に文化芸術の体験をより多く届けたいが、申し込みが予算を超えたため、実施できなかった園もあった。

27ステップ、すくすく

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R6	「生涯学習推進講座開催事業」の予算内で、できるだけ希望する園で実施し出来るよう調整し、未就学児に対する文化芸術にふれる機会の提供を図っていく。	**課題（両課協議）**
	R7		
	R8		
	R9		

27ステップ、すくすく

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	①幼児すてっぷ出前講座　参加園	園	17	18				
(2)	〃　参加者数	人	619	697				
(3)	②親子ですくすく出前講座　参加園	園	14	20				
(4)	〃　参加者数	人	439	872				
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
各園からメニューを選択してもらい、講師派遣を行う。 ①幼児すてっぷ出前講座 【対象】園児 【メニュー】紙芝居、チアダンス、積み木ワークショップ ②親子ですくすく出前講座 【対象】園児と保護者 【メニュー】 ネイチャーゲーム、フィットネス教室、しかけカード作り、トランスパレント(工作)、絵本作り、リトミック	各園からメニューを選択してもらい、講師派遣を行う。 ①幼児すてっぷ出前講座 【時期】6月～2月 【参加】18園実施、延べ697人参加 ②親子ですくすく出前講座 【時期】6月～2月 【参加】20園・子育て支援センター実施、延べ23回実施、872人参加

当初予算額	1,968 千円	決算見込み	1,678 千円
主な経費　講師謝金、講師費用弁償			

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
各園からメニューを選択してもらい、講師派遣を行う。 ①幼児すてっぷ出前講座 【対象】園児 【メニュー】紙芝居、チアダンス、積み木ワークショップ ②親子ですくすく出前講座 【対象】園児と保護者 【メニュー】 ネイチャーゲーム、フィットネス教室、しかけカード作り、トランスパレント(工作)、絵本作り、リトミック	

当初予算額	2,440 千円	決算見込み	千円
主な経費　講師謝金、講師費用弁償			

28文化伝承

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	酒田文化伝承シリーズ講座	担当課	社会教育課
	予算事業名	生涯学習推進講座開催事業		
事業概要		自己の充実、生活の向上、豊かな人生を送るための講座や地域人材を育成する講座を開催する。小中学生に酒田の伝統文化に触れる機会を提供し、興味・関心をもってもらうとともに郷土愛を育むもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☑ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☑ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市(教育委員会)
2 関係団体等	
3 協働者(事業実施者)	1.なし (担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(小中学生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ( )

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R5		酒田の絵ろうそくの歴史を学び酒田の伝統文化に触れる機会を提供できた。 **課題（両課協議）** 酒田絵ろうそくは、２年連続で実施してきたが、コミセン等他の場所でも開催している内容のため興味関心が薄れつつある。

28文化伝承

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R6	酒田文化伝承シリーズ講座の内容を変えて実施する。	**課題（両課協議）**
	R7	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**
	R8	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**
	R9	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**

28文化伝承

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	延べ参加者数	人	8	13				
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
将来ある子どもたちに酒田で大切に受け継がれてきたモノ、コトを紹介していくシリーズ講座。	令和５年度は前年度に引き続き「絵ろうそくの世界をのぞいてみよう」全1回講座を開催。 実施内容：絵ろうそくの歴史やろうそくの原材料の移り変わり等について講話、ろうそくの絵付け、体験 実施日：11/11（土） 参加者：小学生（1～6学年）13人

当初予算額	1,968 千円	決算見込み	1,678 千円

主な経費　講師謝金、講師費用弁償

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
未定	

当初予算額	2,440 千円	決算見込み	千円

主な経費　講師謝金、講師費用弁償

29愛ごはん

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	酒田愛ごはん	担当課	社会教育課
	予算事業名	生涯学習推進講座開催事業		
事業概要		自己の充実、生活の向上、豊かな人生を送るための講座や地域人材を育成する講座を開催する。酒田市周辺地域の在来野菜や伝統料理を学び、食文化や郷土愛への愛着を育むもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☑ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☑ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

１事業の実施主体	酒田市(教育委員会)
２関係団体等	
３ 協働者(事業実施者)	1.なし (担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載)
４ 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ( )

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
５ 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R5		酒田の郷土料理や在来野菜について学び食文化の理解を深めることが出来た。 **課題（両課協議）** 参加者が同じ年代等に偏り、固定化が懸念された。(高齢者が多かった)

29愛ごはん

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
５ 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R6	受講生の固定化を避け、より多くの市民に届けるため、受講者層に考慮した(例えば小学生の親子など)講座内容を企画する。	**課題（両課協議）**
	R7	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**
	R8	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**
	R9	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**

29愛ごはん

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	延べ参加者数	人	50	69				
(2)	講座回数	回	5	5				
(3)								
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
○親子向け講座(10-11月に2回食) ・1回目/平田赤ネギ ・2回目/鮭遡上 ○成人向け講座(5-7月に3回) ・1回目/在来野菜/ウコギ、うるい ・2回目/伝統料理/マスのあんかけうどん、卵寒天、孟宗汁、笹巻 ・3回目/圃場見学/鵜渡川原きゅうり	「酒田愛ごはん～在来野菜や伝統料理を学ぶ～」 ○前期（全3回） ①5/27 在来野菜を学ぼう（ウコギ、ウルイ、折菜等）参加者15人、②6/17 お祭りのお祝い行事食（笹巻、あんかけうどん等）参加者14人、③7/8 在来野菜の圃場見学と収穫体験（鵜渡川原きゅうり）参加者13人 ○後期（全2回） ①10/28 在来野菜「平田赤ねぎ」を学ぼう 参加者12人、②11/25 庄内の行事食「大黒様のお歳夜」を学ぼう 参加者15人

当初予算額	1,968 千円	決算見込み	1,678 千円

主な経費　講師謝金、講師費用弁償

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
○親子向け講座を５回開催 地域の産地化されたくだものに着目。 親子でほ場や選果場見学をしたり、くだものを使った簡単スイーツづくりを通してくだものについて学ぶとともに、郷土について理解を深める。	

当初予算額	2,440 千円	決算見込み	千円

主な経費　講師謝金、講師費用弁償

30マリーンジュニア

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	マリーンジュニア合唱団の運営	担当課	社会教育課
	予算事業名	生涯学習推進講座開催事業		
事業概要		自己の充実、生活の向上、豊かな人生を送るための講座や地域人材を育成する講座を開催する。小中学生を対象に音楽を楽しめる子どもをたくさん増やし、音楽文化を未来に繋いでいくとともに、年齢や学校を超えた活動を通し子どもの健全育成につなげていくもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☑ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☑ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市(教育委員会)
2 関係団体等	
3 協働者(事業実施者)	1.なし (担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(小中学生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ( )

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R5		新規の団員が７人増え、より充実した合唱活動を行うことができた。また学校以外の場所での文化芸術を親しむ機会の創出や発表の場を提供することが出来た。 **課題（両課協議）** コロナ禍以前は老人施設等での演奏会も実施していた。 卒団者(中3)が多く、団員数の減少(一桁)が見込まれ、新規入団者が少ないと合唱自体も難しくなる。

30マリーンジュニア

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R6	新規の団員募集に努める。	**課題（両課協議）**
	R7	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**
	R8	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**
	R9	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**

30マリーンジュニア

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	講座回数	回	35	22				
(2)	団員数	人	9	16				
(3)								
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
実施期間：5～3月（土曜日） ・通常練習/月2回程度 ・予定公演/ユネスコ童謡を歌う会、定期演奏会 ・保護者会活動/クリスマス会　など	実施期間：6月～3月（土曜日） ・通常練習：全22回 ・公演：①2/10（土）ユネスコ童謡を歌う会、②3/23（土）予定　定期演奏会 ・保護者会活動：12/9（土）クリスマス会 ・団員数：16人

当初予算額	1,968 千円	決算見込み	1,678 千円
主な経費　講師謝金、講師費用弁償			

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
実施期間/6～3月（土曜日） ・通常練習：全22回 ・予定公演：ユネスコ童謡を歌う会、定期演奏会 ・保護者会活動：クリスマス会　など	

当初予算額	2,440 千円	決算見込み	千円
主な経費　講師謝金、講師費用弁償			

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	地域人材交流講座	担当課	社会教育課
	予算事業名	生涯学習推進講座開催事業		
事業概要		自己の充実、生活の向上、豊かな人生を送るための講座や地域人材を育成する講座を開催する。小中学校において、地域で専門的な知識や技能を有する地域の人材(以下「地域指導者」)を生かした学習を展開し、学習活動における児童生徒の学習意欲や実践意欲の高揚を図り、地域と学校を結び付け郷土愛を醸成するもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☑ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☑ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☑ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市(教育委員会)
2 関係団体等	小中学校、地域の方々
3 協働者(事業実施者)	1.なし (担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(小中学生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ( )

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R5		参加者、回数は前年度にくらべ増加している。地域の人材を活用して、文化芸術に触れる機会の創出に支援できた。 **課題（両課協議）** 引き続き学校と連携しながら事業の継続を図る。

31地域人材交流

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
5 基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R6	申請手段(郵送・持参)にメールも加え、申請書様式の修正等双方の事務処理をスムーズに行えるように工夫することで、事務の効率化を図り、事業の継続推進し、地域に根ざした小中学生の文化芸術に触れる機会の創出を図る。	**課題（両課協議）**
	R7	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**
	R8	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**
	R9	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**

31地域人材交流

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	延べ参加者数	人	12,181	13715				
(2)	実施校	校	25/28	25				
(3)	実施回数	回	269	286				
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
各学校でクラブ活動や総合学習等で講師を地域指導者にお願いした際の謝礼を補助する(2000円/人・回) ○クラブ活動の事例 ・茶道、光丘掘り、水彩画、天狗舞・獅子舞、傘福づくり、習字、邦楽楽器演奏、茶道、日本文化、生け花、郷土料理など ○学級活動・総合の事例 ・読み聞かせ、地域の伝統野菜、新井田川の学習、米作り、黒森歌舞伎の歴史、大黒舞の指導、SDGs	各学校でクラブ活動や総合学習等で講師を地域指導者にお願いした際の謝礼を補助する(2000円/人・回) ○クラブ活動の事例 ・茶道、光丘掘り、水彩画、天狗舞・獅子舞、傘福づくり、習字、邦楽楽器演奏、茶道、日本文化、生け花、郷土料理など ○学級活動・総合の事例 ・読み聞かせ、地域の伝統野菜、新井田川の学習、米作り、黒森歌舞伎の歴史、大黒舞の指導、SDGs

当初予算額	1,968 千円	決算見込み	1,678 千円
主な経費	謝礼（図書カード）		

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
各学校でクラブ活動や総合学習等で講師を地域指導者にお願いした際の謝礼を補助する(2000円/人・回) ○クラブ活動の事例 ・茶道、光丘掘り、水彩画、天狗舞・獅子舞、傘福づくり、習字、邦楽楽器演奏、茶道、日本文化、生け花、郷土料理など ○学級活動・総合の事例 ・読み聞かせ、地域の伝統野菜、新井田川の学習、米作り、黒森歌舞伎の歴史、大黒舞の指導、SDGs	

当初予算額	2,440 千円	決算見込み	千円
主な経費	謝礼（図書カード）		

32ミライニ管理運営

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	ミライニ管理運営事業	担当課	社会教育課
	予算事業名	ミライニ管理運営事業		
事業概要		交流促進と中心市街地の活性化のため、市民の多様な活動および学習機会を創出する。市民の多様な活動及び学習機会を創出し、交流促進と中心市街地の活性化を図ることにより知(地)の拠点としての図書館機能を拡充するもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☑ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☑ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

１事業の実施主体	酒田市(教育委員会)
２関係団体等	株式会社図書館流通センター
３協働者(事業実施者)	1.なし (担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 株式会社図書館流通センター(指定管理/委託)
４主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
５基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R５		にぎわい創出に係るツールとして、アートにかかわる事業などミライニで実施する事業に支援できた。 **課題（両課協議）** アートにかかわる事業など、文化政策課と連携することで、それぞれで行う事業に広がりを持たせることが課題。

32ミライニ管理運営

		課題を受け、工夫したいこと(両課協議)	評価（両課協議）
５基本的施策に対する評価・課題(文化政策課)	R６	ミライニで行っている事業内容や文化政策課で行っている事業内容を双方で情報共有し、連携できる事業を模索していく。(例 いいいろいろいろ展(文化政策課事業)の会場をミライニにする。など)	**課題（両課協議）**
	R７	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**
	R８	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**
	R９	**課題を受け、工夫したいこと(両課協議)**	**評価（両課協議）** **課題（両課協議）**

32ミライニ管理運営

6事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	ミライニ年間入館者数	人	-	424,499 (1月末現在)	400000			
(2)	図書館の新規登録者数	人	-	1,426 (1月末現在)	1200			
(3)	ミライニを活用した企画事業の実施回数	回	-	43以上 (1月末現在)	24			
(4)								
(5)								

7事業内容(担当課記入)

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
	酒田駅前交流拠点施設ミライニ及び図書館の管理運営（指定管理） <文化芸術関連事業抜粋> ○MIRAINI × Art（駅前アートイベント、音楽・ダンスイベント） ○MIRAINI withサポーター（おはなし会・ブックスタートサポーター養成ほか） ○MIRAINI workshop（多様なジャンルのワークショップ） ○MIRAINI 酒田発信（ミライニフォトコンテスト） ○図書館事業（土曜お話会ほか） ○観光案内所事業（観光案内、まち歩き体験） ○オリジナル事業（映画上映、団体・企業支援型イベント）	<文化芸術関連事業抜粋>※1月末現在 ・定期開催事業：土曜おはなし会（第1～3土曜日）、ブックスタート（3か月児健康診査時）、ミライニベビーバッグ（第3水曜日） ・定例事業：ミライニステージ（開催5回、参加人数のべ712人）、ミライニシアター（開催7回、参加人数のべ315人） ・単独開催事業：SAKATART ミライニから始まる、アートな酒田（～4/16 SAKATART アートバッチプロジェクト（参加人数215人）ほか、市内観光地を撮影したビジュアルポスターの市内各所展示・スタンプラリー等）、5/3 ミライニアート「墨と楽しみ触れ合おう」（参加人数14人）、5/5お絵描き水族館（参加人数180人）、8/8～9/10 写真家　斎藤政広氏　写真展、1/27はじめてのアートワークショップ「くしゃまる」（参加58人）ほか多数
	当初予算額 312,617 千円	決算見込み 292,759 千円
	主な経費	

令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
	酒田駅前交流拠点施設ミライニ及び図書館の管理運営（指定管理） <文化芸術関連事業抜粋> ○MIRAINI × Art（駅前アートイベント、音楽・ダンスイベント） ○MIRAINI withサポーター（おはなし会・ブックスタートサポーター養成ほか） ○MIRAINI workshop（多様なジャンルのワークショップ） ○MIRAINI 酒田発信（Instagram観光写真公募ほか） ○図書館事業（土曜お話会ほか） ○観光案内所事業（観光案内、まち歩き体験ほか） ○オリジナル事業（映画上映、団体・企業支援型イベントほか）	
	当初予算額 307,580 千円	決算見込み 千円
	主な経費　指定管理委託料	

1山居倉庫公有化

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続新規	事務事業名	山居倉庫公有化事業	担当課	企画部都市デザイン課
	予算事業名	山居倉庫公有化事業（Ｒ5のみ）		
事業概要		国指定史跡山居倉庫を公有化することにより、山居倉庫の歴史的価値の保存及び地域の歴史や文化を尊ぶ心を醸成し、郷土愛にあふれた人材を育成すること。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☑ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☑ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☑ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	庄内倉庫株式会社、全国農業協同組合連合会
3 協働者(事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり（委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載）
4 主な受益者	1.全ての市民（特に力を入れている対象がある場合：　） 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳)　成人　高齢者(65歳～)　障がい児者　外国人 3.企業　団体　その他(　)

5事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)								
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

1山居倉庫公有化

資料４-2

6事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
令和４年度で農業倉庫としての機能が終了したため、**この貴重な史跡を適切に保存管理し、整備活用を図るため公有化**を行う。 （１）取得先 庄内倉庫株式会社、全国農業協同組合連合会 （２）事業費 ①土地購入費260,100千円　14,776.77㎡ ・庄内倉庫株式会社持分8,002.79㎡（54%）140,900千円 ・全国農業協同組合連合会持分 6,773.98㎡（46%） 119,200千円 ②建物購入費 340,600千円 ・庄内倉庫株式会社持分　191,500千円 ・全国農業協同組合連合会持分　149,100千円 ③その他経費 3,952千円 費用弁償120千円、普通旅費240千円、消耗品費34千円、委託料 2,731千円、借上料827千円 《12月補正》34,060千円増額	実施内容 **史跡山居倉庫の敷地内にある土地、建物の一部について公有化**を行った。 主な事業費 ①公有財産購入費 634,760千円 （内訳） 庄内倉庫株式会社 351,734,727円 土地140,864,727円、建物210,870,000円 全国農業協同組合連合会 283,025,273円 土地119,235,273円、建物163,790,000円 ②土地借上料 850千円 全国農業協同組合連合会 238,318円 庄内みどり農業協同組合 611,600円 ※令和6年度から山居倉庫に係る事業の担当課は文化政策課となる。保存管理については、山居倉庫管理事業で実施。整備については、山居倉庫整備事業で実施。山居倉庫整備基本計画策定については、山居倉庫整備基本計画策定事業で実施。
当初予算額 604,652 千円	決算見込み 635,695 千円
主な経費　公有財産購入費634,760千円、借上料850千円、普通旅費85千円	

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
当初予算額 千円	決算見込み 千円
主な経費	

2景観づくり

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	景観形成重点地域の景観づくり	担当課	企画部都市デザイン課
	予算事業名	景観づくり事業		
事業概要		酒田市景観計画に基づき景観づくりを推進するとともに、市民・事業者・行政の協働で花と緑があふれたまちづくりに取り組むもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☑ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☑ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☑ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	
3 協働者(事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり（委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載）
4 主な受益者	1.全ての市民（特に力を入れている対象がある場合： ） 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳)　成人　高齢者(65歳～)　障がい児者　外国人 3.企業　団体　その他( )

5事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)								
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

2景観づくり

6事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
（１）**良好な景観形成への誘導** （２）**「景観形成重点地域」の景観づくり推進**（山居倉庫周辺地区、松山歴史公園周辺地区、日和山周辺地区） （３）屋外広告物指導員を委嘱することによる、屋外広告物事務の円滑な運用 （４）フラワーバスケット設置の普及促進 ・市民との協働によるフラワーバスケットの作成・設置（ミライニ広場） ・事業所との協働によるフラワーバスケットの作成・設置（花苗代の半額を事業所で負担） （５）既存プランターの再整備による中町モールの美化推進	（１）**良好な景観形成への誘導** （２）**「景観形成重点地域」の景観づくり推進** ・景観条例第５条に基づく届出受理件数（民間）31件 <内訳> 重点地域外の行為における届出 25件 （建築物５件、工作物９件、開発１件、土石採取５件、物件の堆積５件） 重点地域内の行為における届出 ６件 （建築物６件） ・景観条例第９条に基づく通知受理件数（国等） １件

当初予算額	3,943 千円	決算見込み	3,352 千円
主な経費	報酬、職員手当等、共済費		

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
①景観条例に基づく届出制度の活用 ②屋外広告物の設置許可、違反広告物の調査・指導 ③スタンディングフラワーバスケットの作成・設置（ミライニ広場および協力事業所等への設置） 【特定財源】（県）市町村総合交付金（屋外広告物事務）982千円、屋外広告物許可申請手数料258千円	

当初予算額	4,458 千円	決算見込み	千円
主な経費	報酬、職員手当等、共済費		

3客船受入

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続/新規				
継続	事務事業名	客船受入事業	担当課	地域創生部交流観光課
新規	予算事業名	客船受入事業		
事業概要	酒田港に寄港するクルーズ船の乗客を歓迎し、寄港する客船増を図るとともに、ファン及びリピーターを増加を図るもの。			

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☑ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☑ ⑰観光との連携
- ☑ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	山形県、酒田市観光ガイド協会、観光ボランティア、酒田交流おもてなし市民会議
3 協働者(事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 山形県、酒田市観光ガイド協会、観光ボランティア（VIPS）、酒田交流おもてなし市民会議、地域通訳案内士
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他(クルーズ船乗客、乗務員)

5事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	臨時観光案内所の設置率	%	－	100	100			
(2)	観光施設入込数	万人	237.6	208.0(R5.12時点)	257.5			
(3)								
(4)								
(5)								

3客船受入

6事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
（１）**外国クルーズ船寄港時歓迎** ・酒田港北港岸壁、街中での観光案内の実施 ・観光案内所の設置、通訳ボランティアの設置、各所への観光案内ボランティアの設置 （２）**邦船クルーズ船寄港時歓迎** ・酒田港北港岸壁での歓迎 観光案内所の設置（庄内総合支庁との連携）、特産品ＰＲ販売、ブースの設置、大獅子の設置 ・街中での観光案内の実施 観光案内所の設置 ○令和５年度クルーズ船寄港見込み※・外国クルーズ船６回、国内クルーズ船 1回	（１）**外国クルーズ船寄港時歓迎** ・実績 4/6 シルバー・ミューズ【初寄港】 4/13 ル・ソレアル【初寄港】 4/14 ダイヤモンド・プリンセス 4/20 シルバー・ミューズ 11/3 ダイヤモンド・プリンセス 11/21 ダイヤモンド・プリンセス ・中町におけるクルーズマーケットの実施 4/14 ダイヤモンドプリンセス （２）邦船クルーズ船寄港時歓迎 邦船の寄港実績なし

当初予算額	1,317 千円	決算見込み	1,232 千円
主な経費	地域通訳案内士・通訳ボランティアに係る謝礼		

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
①クルーズ船乗客へのおもてなし ・外国船7回と邦船1回に係る経費 ・通訳（観光案内所、観光施設）、観光ガイド（観光案内所、観光施設）、地域通訳案内士（観光案内所）、公益大おもてなし隊（ふ頭）に対する、外国船7回分、邦船1回分の謝礼 ・観光用自転車の埠頭への搬送	

当初予算額	2,876 千円	決算見込み	千円
主な経費	地域通訳案内士・通訳ボランティアに係る謝礼		

4各団体への負担金(北前船)

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	各団体への負担金	担当課	地域創生部交流観光課
	予算事業名	～Ｒ5秋田・酒田交流事業 R6～北前船日本遺産推進事業		
事業概要		地域の活性化のため、北前船関連各協議会の連携を強化し、関係各都市との交流を促進するもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☑ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☑ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☑ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	秋田・酒田交流事業実行委員会
3 協働者(事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 秋田・酒田交流事業実行委員会(負担金)、北前船日本遺産推進協議会（負担金）、酒田市日本遺産推進協議会（負担金）
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

5事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	構成文化財の入込数（市全体）	人	520,907	564,271	12,000			
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

4各団体への負担金(北前船)

6事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
（１）**秋田・酒田交流事業実行委員会負担金**(1,200千円) ・親子で楽しむ体験支援 マイクロツーリズム促進の一環として、秋田市の観光資源である大森山動物園を本市の小学生以下の親子が利用する際の入園料を支援する。 また、同園で両市の親子の交流の機会を設けることにより、交流の促進を図る。 **・文化交流事業** イベントの開催に合わせ、あきた舞妓と酒田舞娘とのコラボや、秋田市と酒田市のブースを出展し、物販や観光PR等を行う。	（１）秋田・酒田交流事業実行委員会負担金 **・親子で楽しむ体験支援** 本市在住でマイナンバーカードを所持している（交付申請中を含む）、小学生以下の子どもがいる保護者に対し、秋田市大森山動物園の年間パスポートと引き換えることができる引換券を１世帯につき２枚まで発行。期間：5/1（月）～2/25（日）、申請枚数：673枚、引換実績：399枚（令和6年1月末時点） **・文化交流事業** 5/27（土）～28（日）「これが秋田だ！食と芸能大祭典2023」のステージイベントであきた舞妓と酒田舞娘の踊りを披露したほか、秋田市と酒田市合同の交流事業ブースを設置し、北前船ノベルティーの配布や北前船文化のPR等を行った。イベント来場者総数は約10万人。

当初予算額	1,200 千円	決算見込み	570 千円
主な経費	各団体への負担金		

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
①秋田・酒田交流事業実行委員会負担金 1,200千円 両市民がお互いの市を巡る1泊2日の市民交流バスツアーを実施。両市の北前船日本遺産構成文化財や関連する施設を巡り、文化交流を行ったり、寄港地の歴史を学んだりする。 **②北前船日本遺産推進協議会負担金** 500千円 北前船寄港地に係る(ⅰ)情報発信および交流人口の拡大、(ⅱ)歴史文化の環境整備、(ⅲ)人材育成、(ⅳ)都市連携の強化など。 全体事業としては物販と情報発信、人材育成、オンラインセミナーなど。ブロック事業として、東北新潟ブロックではブロック内の交流人口増加のための策として、全体でのカードラリーなど。 **③酒田市日本遺産推進協議会負担金** 1,007千円 「北前船日本遺産推進協議会」の全体事業の一部実施、市単独もしくは近隣構成自治体やブロック内の交流などの事業を行う。ラッピングバス（るんるんバス）やクラフトフェア会場でのパネル展示、酒田雛街道での日本遺産活用、鶴岡市とのコラボ企画など。	

当初予算額	2,707 千円	決算見込み	千円
主な経費	各団体への負担金		

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	観光戦略推進事業	担当課	地域創生部交流観光課
	予算事業名	観光戦略推進事業		
事業概要		酒田ファンを増やし、観光誘客につなげるため、酒田市中長期観光戦略に基づく各種施策を展開するもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☑ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☑ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☑ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	観光事業者、国、市民
3 協働者(事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 酒田DMO(負担金)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

5事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	エージェント等訪問回数	回	0	14	15			
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

5観光戦略

6事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
酒田市中長期観光戦略に基づき、酒田における３つの「強み」である、①農産物や海産物など豊富な食材の宝庫、②酒田舞娘をはじめとした歴史文化、③鳥海山・飛島ジオパークなど豊かな自然環境を「酒田自慢」として広めることで「酒田ファン」を増やし誘客の促進を図っていく。 （１）**酒田ＤＭＯ負担金**（デジタル田園都市国家構想交付金事業）41,686千円 ・酒田ＤＭＯの運営支援、アドベンチャーツーリズムの企画開発、酒田の美酒美食ツーリズムの推進、さかた観光交流マイスターの活用、インバウンド対応のためのプロモーション活動、地域観光事業者との連携 （２）**地域活性化起業人負担金** 27,400千円 総務省の企業人材派遣制度を活用、民間企業から社員を受入れ、酒田ＤＭＯの機能を強化し事業内容の充実や円滑な事業実施を図る。 （３）**観光動向調査** 583千円 （４）**英語版観光ウェブサイト経費等** 214千円	（１）酒田ＤＭＯ負担金 **・酒田ＤＭＯの運営支援**(人件費ほか運営経費、エージェント訪問等旅費) プロパー2名、酒田市派遣2名、地域活性化起業人活用2名、エージェント訪問件数（オンライン除く）48件 **・アドベンチャーツーリズムの企画開発**(観光庁補助事業活用体験コンテンツ造成) 日本文化体験ツアー（松山能、砲術隊、酒田舞娘）、酒田舞娘スタディ事業（着付け体験と踊り体験、雪山体験、古民家体験） **・酒田の美酒美食ツーリズムの推進** コラボランチ（酒田、東京）、寿司デビュー、台中での酒田フェア、酒の酒田の酒まつり **・さかた観光交流マイスターの活用（澳町文化の保存継承）** 観光プロモーション派遣（台湾台中、仙台）、イベント派遣（イカ釣り船団出航式、伝統芸能イベント）、視察対応、観光プロモーション動画、学校等への出前授業（8か所）、観光キャンペーンノベルティ制作 **・インバウンド対応のためのプロモーション活動** 台中プロモーション（国際旅展出展、旅行業組合でのプロモーション、裕毛屋での酒田フェア（物販、舞娘）、学校訪問）、エージェント訪問（再掲） オンライン含む件数 57件 **・地域観光事業者との連携**(イベントでの物産販売、物産展等の調整、輸出案件) 6/27酒田の観光戦略勉強会、12/1観光関係者座談会、ガイド協会とのワークショップ、八幡地域とのワークショップ、日和山クラフト・アートフェア、日和山台町ライトアップ

当初予算額	69,883 千円	決算見込み	59,668 千円
主な経費	酒田ＤＭＯ運営費補助金		

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
①**酒田DMO運営補助金** 38,973千円 **・酒田DMOの運営支援** **・アドベンチャーツーリズムの企画開発** **・酒田の美酒美食ツーリズムの推進** **・さかた観光交流マイスターの活用** **・インバウンド対応のためのプロモーション活動** **・地域観光事業者との連携** **・観光動向調査** ②**地域活性化起業人負担金** 16,800千円 ・総務省の企業人材派遣制度を活用し、民間企業から社員を受け入れ、酒田DMOの機能を強化 ③**英語版観光ウェブサイト経費**など 【特定財源】さかた応援基金繰入金 15,000千円	

当初予算額	56,521 千円	決算見込み	千円
主な経費	酒田ＤＭＯ運営費補助金		

6各団体への負担金等(交流観光)

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	各団体への負担金等	担当課	地域創生部交流観光課
	予算事業名	交流観光推進事業		
事業概要		交流観光事業全般に係る経常経費、関連団体等への負担金・補助金など		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☑ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☑ ⑰観光との連携
- ☑ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	各団体
3 協働者(事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

5事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)								
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

6各団体への負担金等(交流観光)

6事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
負担金(千円) 酒田観光物産協会負担金4,493、山形県観光物産協会負担金171、鳥海国定公園観光開発協議会負担金759、山形県自然公園等保全整備促進協議会負担金11、山形の観光と物産展実行委員会負担金459、やまがたインバウンド協議会負担金150、やまがた観光キャンペーン推進協議会負担金1,656、**寒鱈まつり**実行委員会負担金1,000、山形県沿岸域総合利用推進協議会負担金319、**北前船日本遺**産推進協議会負担金500、**酒田市日本遺産**推進協議会負担金1,007、山形県**タイ友好**協会負担金10、**荘内酒井歴史文化振興**会会費20、庄内観光コンベンション協会負担金4,873、日本海きらきら羽越観光圏推進協議会負担金3,474、地域連携研究所会費300、陸羽東西線利用推進協議会負担金36、酒田のまつり実行委員会負担金32,923、**酒田ばやし保存会**運営費補助金119	・寒鱈まつり 開催日／1月28日（日）、場所／中通り商店街、中町モール、ミライニ、海鮮市場など、集客数／○万人、開催内容／寒鱈汁の1杯800円での販売、酒田のラーメンの販売、抽選会などの実施 **・北前船日本遺産推進協議会負担金** 情報発信事業（北前船日本遺産推進協議会ポータルサイトの運営など）、旅行商品造成、全国一斉オンラインセミナー（8/9。本市は募集過小のため実施せず）、交流会の開催、物販事業（北前船ブランドショップ事業。ECサイトを12月にオープン）、物産プロモーション事業の実施、日本遺産フェスティバル（八王子）への参加・会場での物販（230,000円）、その他ブロック予算の配分によるブロック単位での活動（東北新潟ブロックではロールアップバナの作成）など ◆全国協議会事業は、事務局であるANA総合研究所において集中的に実施。 **・酒田市日本遺産推進協議会負担金** 酒田市日本遺産推進協議会 パンフレット印刷、雛街道事業における日本遺産ブランドの活用・PR（ポスター、チラシ、WEB媒体等へのロゴ掲出）、日和山クラフトフェア会場における日本遺産パネル展示の実施、カードラリー用カードの印刷・補充（雛巡り施設を中心に増刷）、鶴岡市と共同での旅行商品造成（バス会社企画運行の商品への一部助成による造成促進策）など
当初予算額 52,280 千円	決算見込み 74,225 千円
主な経費 各団体への負担金・補助金	

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
酒田観光物産協会負担金4,493千円、山形県観光物産協会負担金173千円、鳥海国定公園観光開発協議会負担金759千円、山形県自然公園等保全整備促進協議会負担金11千円、山形の観光と物産展実行委員会負担金459千円、やまがたインバウンド協議会負担金150千円、やまがた観光キャンペーン推進協議会負担金1,656千円、**寒鱈まつり実行委員会負担金**1,000千円、山形県沿岸域総合利用推進協議会負担金319千円、山形県タイ友好協会負担金10千円、**荘内酒井歴史文化振興会会費**20千円、庄内観光コンベンション協会負担金4,873千円、日本海きらきら羽越観光圏推進協議会負担金3,474千円、地域連携研究所会費100千円、陸羽東西線利用推進協議会負担金36千円、**酒田のまつり実行委員会負担金**38,923千円、酒田交流おもてなし市民会議負担金880千円、**酒田ばやし保存会運営費補助金**119千円	
当初予算額 57,455 千円	決算見込み 千円
主な経費 各団体への負担金・補助金	

7鳥海山・飛島ジオ

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	鳥海山・飛島ジオパーク推進事業	担当課	地域創生部交流観光課
	予算事業名	鳥海山・飛島ジオパーク推進事業		
事業概要		持続可能な地域づくりを推進するため、鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会と連携し、地域住民が主体となった体験メニューの提供や自然体験学習、お土産品開発など鳥海山・飛島ジオパークを活用する。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☑ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☑ ⑰観光との連携
- ☑ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会、鳥海山・飛島ジオパークジオガイドの会
3 協働者(事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

5事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	ジオパーク参加者旅行支出額(日帰り)	万円	319	491	500			
(2)	市内小中学校の総合的な学習の時間へのジオガイド派遣回数	回	33	37	40			
(3)								
(4)								
(5)								

7鳥海山・飛島ジオ

6事業内容(担当課記入)

令和５年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
□報償費150 ジオガイド養成講座・セミナー講師謝金 □旅費872 費弁634 ガイド養成講座参加者渡航費用等 普旅238 全国大会参加旅費(関東地区)他 □需用費381 食糧32 ボランティア時昼食、全国大会時 修繕282 看板修繕等 燃料12 ボランティア時草刈機燃料代 消耗55 展示会イベント実施時消耗品等 □役務費 354 保険3 ボランティア障害保険25人分 通運3 飛島資材運搬費 広告264 るんるんバスラッピング代 手数84 ジオルート点検、看板デザイン等 □負担金 16,115 ジオパーク推進協議会負担金	**ジオパークポロシャツキャンペーン**54着(4/4～14) 船上ガイドキャンペーン（定期航路事業所事業）(4/29～9/23) **トビシマカンゾウ保全ボランティア**(6/17～18) 光ケ丘地区環境美化ボランティア(6/24, 9/23) 出前講座（調理師専門学校）(6/26) ジオガイド養成講座.計５回（酒田飛島エリア）(7/8～10/14) Save the クロマツ 2023(7/6) **みなとオアシスまつりジオブース出展**(9/3) **トビシマカンゾウ保全作業**(9/16～17) 出前講座（上安町自治会、48区老友会）(10/18,25) 生涯学習まつり・コミセンまつり（松原・浜田）**ジオブース出展**(10/14,21,22) 砂防林保全ボランティア参加(11/11) **世界ジオパーク拠点施設視察**（白山手取川）(11/14～16)
当初予算額 17,872 千円	決算見込み 17,000 千円
主な経費 トビシマカンゾウ保全ボランティア、ジオパーク看板修繕、ジオガイド養成講座、イベントへのジオブース出展	

令和６年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
①ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた活動 ・住民の機運醸成のためのシンポジウムや出前講座の開催 ・受け入れ体制強化のためのガイド養成やインフォメーション機能の充実 **②環境保全活動・教育活動や地域振興にジオパークを活用できる組織づくり** **③地域住民が自ら主体となって活動できる環境整備** 【特定財源】鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会自治体支援事業助成金 400千円ほか	
当初予算額 17,991 千円	決算見込み 千円
主な経費 鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会負担金	

8国際交流

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続/新規				
継続	事務事業名	国際交流協会負担金、酒田地区日中友好協会負担金	担当課	～R5地域創生部交流観光課 R6～市民部共生社会課
新規	予算事業名	国際交流推進事業 [111]		
事業概要		市民の国際交流を推進するもの。 姉妹都市/・ロシア連邦ジェレズノゴルスク・イリムスキー市、アメリカ合衆国デラウェア市、友好都市/・中国唐山市、交流都市/・ロシア連邦サンクトペテルブルク市		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☑ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☑ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☑ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	酒田市国際交流協会、酒田地区日中友好協会
3 協働者(事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

5事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	国際交流協会主催のイベント回数	回	5	5	4			
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

8国際交流

6事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
①国際交流協会 ・会員へ国際交流活動などの発信 ・英語での通訳ガイドの養成 クルーズ船寄港に備えた観光客対応のための研修 ・インターナショナル・トークカフェ（年に4回程度） 講師が自国の文化などを紹介し、世界各国の取り組みを学ぶ ・SAKATA PR動画コンテスト 酒田の魅力を英語で紹介する動画の募集、事前学習会の実施、コンテスト形式での表彰 ・ニュージーランドとの交流 共生社会などについて学ぶ講座の実施、ジオパークに関する情報交換 **②酒田地区日中友好協会** ・総会懇親会	**①国際交流協会** ・Newsletter（メールの配信） 18回 ・ダイヤモンド・プリンセス説明会・北庄内地域通訳案内士研修 11月寄港のクルーズ船対応に備えるため、観光施設の概要や4月寄港時の経験談、通訳案内の向上について学ぶ ・インターナショナル・トークカフェ 3回 ・SAKATA PR動画コンテスト 参加者のべ80人 16作品（生徒部門14作品、一般部門2作品）の応募があり、うち6作品が受賞 ・ニュージーランド共生社会講座 参加者のべ26人 東北公益文科大学の教授より講座、学生より研究の中間発表を実施 **②酒田地区日中友好協会** ・総会懇親会
当初予算額 20 千円	決算見込み 20 千円
主な経費 国際交流協会負担金、酒田地区日中友好協会負担金	

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
①国際交流協会 ・会員へ国際交流活動などの発信 ・インターナショナル講座（年に3回程度） 国際的な文化などを学び、交流する ・SAKATA PR動画コンテスト 酒田の魅力を英語で紹介する動画の募集、コンテスト形式で表彰 ・ニュージーランドとの交流 共生社会などについて学ぶ講座の実施、東北公益文科大学へ「交流」に係る調査研究の委託 **②酒田地区日中友好協会** ・総会懇親会	
当初予算額 436 千円	決算見込み 千円
主な経費 国際交流協会負担金、酒田地区日中友好協会負担金	

9武蔵野市国内交流

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	武蔵野市交流市町村協議会負担金	担当課	地域創生部交流観光課
	予算事業名	～R5北区・武蔵野市交流事業 R6～国内都市交流事業 [111]		
事業概要		国内の友好都市等との交流を行うもの。 三重県南伊勢町Ｒ5.8.4協定、岩手県平泉町Ｒ5.6.29協定、東京都北区、東京都武蔵野市、秋田市		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☑ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☑ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	武蔵野市交流市町村協議会
3 協働者(事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 武蔵野市交流市町村協議会(協力)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

5事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	武蔵野市民ツアー【隔年】受入人数	人	20	実施無し	20			
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

9武蔵野市国内交流

6事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
武蔵野市との交流 ①武蔵野桜まつりでの本市PR ②武蔵野市交流市町村協議会負担金100千円 ・武蔵野市交流市町村協議会首長サミット（南砺市）の実施（市町村長及び議会議長の協議会（サミット）と職員研修会を毎年交互に開催） ・「ふるさとは美しく」モデル事業 武蔵野市の各友好都市が行う「美しいふるさと風土」の保全と活用に関する事業等を選定・助成する。 ※予算額は北区・武蔵野交流事業全体のもの。	**武蔵野市との交流** ①3/31予定 武蔵野桜まつりでの本市PR 武蔵野桜まつり実行委員会で、各友好都市の地酒を購入し、武蔵野市民に振る舞う。また、同委員会で、各友好都市の特産品を購入し、式典での抽選品として、市民向けにPRしながら配布する。 ②「ふるさとは美しく」モデル事業 武蔵野市の友好都市の1つ、鳥取県岩美町の田後公園施設改修事業をモデル事業として選定。 ※決算額は北区・武蔵野交流事業全体のもの。

当初予算額	290 千円	決算見込み	290 千円
主な経費	武蔵野市交流市町村協議会負担金		

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
武蔵野市との交流 ①武蔵野桜まつりでの本市PR ②武蔵野市民交流ツアーの受入【隔年】 2泊3日、武蔵野市民20人を想定。バス移動経費についてのみ本市で補助する。 ③武蔵野市交流市町村協議会負担金100千円 ・武蔵野市交流市町村協議会職員研修会の実施（市町村長及び議会議長の協議会（サミット）と職員研修会を毎年交互に開催） ・「ふるさとは美しく」モデル事業 武蔵野市の各友好都市が行う「美しいふるさと風土」の保全と活用に関する事業等を選定・助成する。 ※予算額は国内都市交流事業全体のもの。	

当初予算額	766 千円	決算見込み	千円
主な経費	武蔵野市交流市町村協議会負担金		

10客船誘致

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	客船誘致事業	担当課	地域創生部商工港湾課
	予算事業名	客船誘致事業		
事業概要		船社や旅行代理店等に対する客船誘致のプロモーション活動を実施し、客船受入活動を行うもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☑ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☑ ⑰観光との連携
- ☑ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	"プロスパーポートさかた"ポートセールス協議会外航クルーズ船誘致部会、酒田港湾振興会
3 協働者(事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) "プロスパーポートさかた"ポートセールス協議会外航クルーズ船誘致部会(山形県県産品流通戦略課)、酒田港湾振興会(商工港湾課)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他(クルーズ船社、クルーズ船乗客)

5事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	クルーズ船誘致活動回数	回	1	17	5	5	5	5
(2)	クルーズ船年間寄港回数	回	0	6	8	12	16	20
(3)								
(4)								
(5)								

10客船誘致

6事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
（１）誘致 クルーズ船社等に対するプロモーション活動、視察対応 "プロスパーポートさかた"ポートセールス協議会外航クルーズ船誘致部会により実施 ・クルーズ船社へのセールス活動、クルーズ商談会、クルーズ関連会議等への参加、動画による寄港地観光のＰＲ **（２）受入 ふ頭の管理及び入港、出港イベントの実施** 外国クルーズ船については"プロスパーポートさかた"ポートセールス協議会外航、クルーズ船誘致部会、国内クルーズ船については酒田港湾振興会により実施、 ・ふ頭の管理（受入に必要な設備の配置、管理）、クルーズ船受入協議会の実施（事務局（港湾管理者）の県に対する協力）、本港地区入港へ向けた岸壁整備の要望、受入体制の構築、クルーズ船の入港、出港時のイベントの実施 ・ふ頭での出店の管理、ふ頭と市街地を往復するシャトルバスの運行（船社で実施しない場合）、クルーズ寄港へ向けた説明会、セミナー等の開催 ○令和５年度クルーズ船寄港見込み・外国クルーズ船６回、国内クルーズ船 １回	**・クルーズ船社等に対するプロモーション活動、視察対応** 実施内容 ①船社・代理店訪問等 １１回 ②視察対応等 ６回 次回寄港へ向けた意見交換や将来的な寄港実現に向 けたポートセールス等の実施 ・寄港実績 4/6 シルバー・ミューズ【初寄港】 4/13 ル・ソレアル【初寄港】 4/14 ダイヤモンド・プリンセス 4/20 シルバー・ミューズ 11/3 ダイヤモンド・プリンセス 11/21 ダイヤモンド・プリンセス

当初予算額	9,661 千円	決算見込み	9,128 千円
主な経費	受入費用として、外国船7,200千円＋二次交通対策費として1,428千円 誘致費用として、外国船500千円		

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
①クルーズ船社に対するプロモーション活動、視察対応 ②寄港時のふ頭管理、出入港イベントの実施 ・令和6年度クルーズ船寄港見込み 外国クルーズ船7回、国内クルーズ船 1回	

当初予算額	11,300 千円	決算見込み	千円
主な経費	受入費用として、外国船8,400千円、邦船2,400千円 誘致費用として、外国船500千円		

11市民交流

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続/新規			担当課	
	事務事業名	市民交流推進事業		～R5地域共生課 R6～共生社会課
	予算事業名	市民交流推進事業		
事業概要		国際交流サロンにおいて、外国出身者の日常生活や日本語学習を支援するとともに、市民との交流事業を通じて異文化に対する相互理解を深める。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☑ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☑ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☑ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市、国際交流サロン企画運営委員会
2 関係団体等	日本語学習支援ボランティアべにばな会
3 協働者(事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 国際交流サロン企画運営委員会（負担金） 日本語学習支援ボランティアべにばな会（委託）
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：外国出身者) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

5事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	国際交流サロン利用者数	人	6,193	8640 (R5.12月現	8,800			
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

11市民交流

6事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
①外国出身者の支援 ●日本語学習支援 ●日本の文化を学習する講座 ②異文化交流 ●国際交流まつりin中町 ●トラベリングDAY ●ワールドクッキング ●外国出身者のための講座 ●甚句踊りパレード参加	①外国出身者の支援 ●日本語学習支援ボランティアによる日本語学習支援（通年実施） ●外国出身者のための講座（自転車のルール等） ②異文化交流イベント ●国際交流まつりin中町 ●トラベリングDAY（ケニア、モナコ、カナダ） ●ワールドクッキング（日本） ●甚句踊りパレード参加

当初予算額	1,194 千円	決算見込み	1,194 千円
主な経費	国際交流サロン企画運営委員会負担金、日本語学習支援事業実施委託料		

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
①日本語学習支援ボランティアと協力した日本語学習支援 ②異文化交流イベント・日本の文化を学習するための講座等の開催 ③多言語版生活ガイドの発行	

当初予算額	1,255 千円	決算見込み	千円
主な経費	国際交流サロン企画運営委員会負担金、日本語学習支援事業実施委託料		

12八幡地域

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	八幡地域振興事業	担当課	八幡総合支所
	予算事業名	八幡地域振興事業		
事業概要		八幡・平田連携事業や地域資源活用イベントを実施するとともに、地域おこし協力隊の配置及び活動支援などにより、八幡地域の振興、外部人材等及び鳥海山・やわた地域ジオパークの活用を推進すること。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☑ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☑ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	八幡地域協議会、庄内やわた会、地域おこし協力隊
3 協働者(事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 八幡地域協議会(負担金)、庄内やわた会(協力)、地域おこし協力隊(酒田市任用職員)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合： 八幡地域住民) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

5事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	八幡・平田連携事業入込数	人	―	3000	3000			
(2)	地域おこし協力隊員が主体となって取り組む事業数	事業	―	4	4			
(3)								
(4)								
(5)								

12八幡地域

6事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
（１）**にぎわい創出1,311千円** ①**八幡・平田連携事業**(隔年合同開催、R５は八幡開催)/八幡・平田地域が連携し地域が有する「食」「自然」などの魅力発信。 ②鳥海山・やわた地域ジオパーク推進事業/八幡地域のジオサイトを中心とした魅力を紹介するツアー実施 ③鳥海山登山教室開催/初心者向け教室 ④玉簾の滝周辺整備助成、湯ノ澤霊泉管理/升田区自治会へ助成、湯ノ澤霊泉水質調査・清掃 （２）**芸術文化の振興**451千円 ①八幡文化祭 ②やわた百人一首かるた大会 ③白旗史朗氏展示展等使用写真パネル保管運搬用台車購入 （３）地域おこし協力隊の配置及び活動支援3,780千円 ①新規隊員の配置（２名）観音寺地区、日向地区、 ②地域住民並びに地域団体との協働による地域活性化に向けた取り組み、地域情報及びイベントに関する情報発信、地域資源を活用したにぎわい創出 （４）八幡地域協議会の開催320千円 （５）庄内やわた会との交流49千円 （６）日向里かふぇ鼠等防除管理業務委託130千円	・八平まつり／**地域の食文化体験**、地域ワークショップ、物産販売など実施日・参加人数/R5.10.22(日) 3,000人 ・**鳥海山・やわたジオパーク推進事業**／「一ノ滝から三ノ滝トレッキング」「紅葉の玉簾と数河の池探訪」「鳥海高原雪原トレッキング」「鳳来山鳥海高原セツゲントレッキング」 ※R5.10.21(土)紅葉の鶴間池と秋の恵探し(中止)、実施日・参加人数／R5.9.23(土)16人、R5.11.4(土)9人、R6.1.20(土)24人、R6.2.17(土)23人 ・**玉簾の滝周辺整備助成**／玉簾の滝周辺の清掃及び除草活動 ・**八幡文化祭**／展示部門(作品展示)、ステージ部門(発表会)、実施日・参加人数／R5.10.21(土)～22(日)出展者20団体312人、来場者(八平まつりと同時開催のため)3,150人。R5.11.3(金・祝日)出演者11団体88人、入場者280人(出演者含む) ・**やわた百人一首かるた大会**／百人一首かるた大会(小学校低・中・高学年の部、一般オープンの部)、参加人数／出場者59人、入場者130人(出場者含) ・**白旗史朗氏**／酒田市美術館、土門拳記念館、日本海総合病院ギャラリーでの展示、実施日・参加人数／R5.4.29(土)～6.25(日)3,830人、R5.7.13(木)～9.12(火)5,048人、R5.12.6～R6.1.13人数不明 ・地域住民並びに地域団体との協働による地域活性化に向けた取り組み(協力隊)／運動教室開催、百歳体操協力 ・地域情報及びイベントに関する情報発信／協力隊だよりの発行 ・地域資源を活用したにぎわい創出／地域イベント等への参加依頼があった際の協力
当初予算額 6,041 千円	決算見込み 4,026 千円
主な経費 ・にぎわい創出(八幡地区観光物産事業実行委員会負担金621千円、八幡・平田連携事業負担金690千円)・芸術文化、スポーツの振興(文化祭関連61千円、百人一首かるた大会40千円、白旗史朗関係181千円)・地域おこし協力隊1,765千円、地域協議会300千円、庄内やわた会49千円、日向里かふぇ鼠等防除管理業務委託130千円	

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
①**にぎわい創出**【拡充】内容等を整理して実施することとしたイベントへの負担金等1,355千円 ・八幡・平田連携事業（R6平田振興事業予算計上） ・鳥海山・飛島ジオパークを広くPRし、地域資源を積極的に活用する鳥海登山初心者向け教室等の開催 ・地域の魅力を発信し交流人口の増加を目指し、やわたの夏まつり、鳥海山やわた前ノ川釣り大会を開催 ・玉簾の滝周辺整備にかかる助成 ②**芸術文化、スポーツの振興**1,882千円 ・やわた文化祭、やわたクラシックコンサート、やわた百人一首かるた大会、八幡体育祭の開催など ③地域おこし協力隊の配置および活動支援3,478千円 ・継続隊員1名（観音寺）、新規隊員1名の配置 ・地域住民並びに地域団体との協働による地域活性化に向けた取組み ③八幡地域協議会の開催300千円 ④庄内やわた会との交流75千円 ⑤日向里かふぇ鼠等防除管理業務委託130千円 ⑤「八幡・東村児童交流の翼」国内交流事業実行委員会酒田市負担金2,200千円 【特定財源】八幡地域振興事業入場料 500千円	
当初予算額 9,420 千円	決算見込み 千円
主な経費 やわたクラシックコンサート公演委託料、八幡地域観光物産事業実行委員会負担金、八幡・東村児童交流の翼実行委員会負担金	

13松山地域

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続/新規				
継続	事務事業名	松山地域振興事業	担当課	松山総合支所
新規	予算事業名	松山地域振興事業		
事業概要		交流・観光イベントや地域資源活用事業を実施するとともに、地域おこし協力隊の配置及び活動支援などにより、松山地域の振興、外部人材等の活用を推進すること。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☑ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☑ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 各事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	松山にぎわい創出実行委員会、松山の宝推進協議会、酒田市芸術文化協会松山支部、地域おこし協力隊
3 協働者(事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 松山にぎわい創出実行委員会(負担金)、松山の宝推進協議会(負担金)、酒田市芸術文化協会松山支部(協力)、地域おこし協力隊(協力)、松山地域観光物産事業実行委員会（負担金※R5は協力）
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合： 松山地域住民) 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

5事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	まつやま大手門くらふとフェアの入込数	人	4300	9200	7000			
(2)	地域おこし協力隊員が主体となって取り組む事業数	事業	2	2	2			
(3)								
(4)								
(5)								

13松山地域

6事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
（１）**にぎわい創出** 573千円 ①交流・観光イベント ・城下町松山の魅力を発信し、交流人口の増加を図るため「まつやま大手門くらふとフェア」を開催 ②地域資源活用事業 ・地域の歴史文化を学び、魅力を広くＰＲするため、「松山の宝茶話会」「甲冑着付け講座」「伝統文化体験事業」などを開催 ③健康増進事業 ・地域住民の健康増進、交流促進、高齢者の引きこもり防止のため「いきいきくらぶ」「健康福祉フェア」を開催 （２）**芸術文化の推進** 42千円 ・松山芸術祭を広くＰＲするため、広報活動を支援 （３）地域おこし協力隊の配置及び活動支援 1,441千円 ・地域情報及びイベントに関する情報発信、地域資源を活用したにぎわい創出 （４）松山地域協議会の開催 318千円 （５）東京松山会との交流 44千円	**・観光物産事業** 花の城下町まつやま探訪（4/16開催）には150名の入込み、松山絵灯篭展示（8/11～20開催）には500名の入込み、城下町松山秋まつり（11/19開催）には1,500名の入込みがあり、地域の交流人口の増加と松山地域の活性化を図った。 **・まつやま大手門クラフトフェア（9/23、24開催）** 第10回目となり、秋のイベントとして定着したことから多くの方々から来場いただき、城下町松山の魅力の発信と交流人口の増加が図られた。2日間とも晴天に恵まれ、コロナ禍による制限をなくして118団体と多くの出展があったことから過去最高の9,200人の来場があった。 **・松山の宝** 地域住民に松山の魅力を再認識してもらうとともに、先人の教えを後世に残すことを目的に茶話会を3回（8/11、12/10、2/10）開催し、延べ46名の参加があった。また、3回目の茶話会と合わせて、伝統文化にふれ担い手を育成することを目的とした伝統文化体験事業を開催し、能装束の解説と着付体験を実施（2/10開催）し、15名の参加があった。 **・松山芸術祭** チラシを作成し、松山地域へ全戸配布してＰＲに協力した。 **・地域おこし協力隊** 料理を活用した地域活動に取り組んでいる。ＳＮＳや広報誌を通して、地域情報や眺海の森などの情報を発信している。
当初予算額 2,418 千円	決算見込み 2,236 千円
主な経費 松山にぎわい創出実行委員会負担金、松山の宝推進協議会負担金	

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
①**にぎわい創出**【拡充】内容等を整理して実施することとしたイベントへの負担金等 **城下町松山の魅力発信:まつやま大手門くらふとフェア、松山まつり、城下町松山秋まつり、松山絵灯篭展示** **歴史文化PR:羽州庄内松山城薪能、花の城下町「まつやま」探訪、松山の宝茶話会、甲冑着付け講座、伝統文化体験事業松山ほたるウィーク** 地域住民の健康増進、交流促進:いきいきくらぶ、健康福祉フェア ②芸術文化、スポーツの振興 ・松山芸術祭PRのため広報活動支援、生涯スポーツ振興のため眺海の森ウォーキング ③地域おこし協力隊の配置および活動支援 ・新規隊員1名の配置 **・地域情報およびイベントに関する情報発信および地域資源を活用したにぎわい創出** ④松山地域協議会の開催 ⑤東京松山会との交流 【特定財源】（県）未来に伝える山形の宝登録制度推進事業費補助金 804千円	
当初予算額 6,437 千円	決算見込み 千円
主な経費 松山地域観光物産事業実行委員会負担金、松山にぎわい創出実行委員会負担金、松山の宝推進協議会負担金、羽州庄内松山城薪能公演負担金	

14平田地域

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	平田地域振興事業	担当課	平田総合支所
	予算事業名	平田地域振興事業		
事業概要		八幡・平田連携事業や地域資源を活用した事業を実施するとともに、地域おこし協力隊の配置及び活動支援などにより、平田地域の振興、外部人材等の活用を推進すること。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☑ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☑ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☑ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	ひらた文化祭実行員会、平田地域観光物産事業実行委員会、地域おこし協力隊、NPO法人
3 協働者(事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり（委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載） 平田自然体験教室（委託料)、ひらた文化祭実行員会（負担金）、平田地域観光物産事業実行委員会（負担金）、地域おこし協力隊（活動補助）
4 主な受益者	1.全ての市民（特に力を入れている対象がある場合： 平田地域住民 ） 2.対象が限定の場合 子ども(～18歳)　成人　高齢者(65歳～)　障がい児者　外国人 3.企業　団体　その他(　　)

5事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	八幡・平田連携事業入込数	人	-	3000	3000			
(2)	地域おこし協力隊員が主体となって取り組む事業数	事業	6	0	2			
(3)								
(4)								
(5)								

14平田地域

6事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
（１）**にぎわい創出** 497千円 ①八幡・平田連携事業(隔年合同開催、R５は八幡開催) ・八幡・平田地域が連携し地域が有する「食」「自然」などの魅力を発信（八幡・平田で隔年合同開催） ②自然体験教室の開催 ・地域資源を活用し郷土愛の醸成に資する。小学生対象。 （２）**芸術文化、スポーツの振興** 760千円 ①平田さしこ教室の開催（初級、中級、上級、各８回）/地域の伝統技術を次世代に継承。 ②ひらた文化祭の開催/地域住民の文化芸術にふれる機会を提供 ③スポーツ教室の開催/地域住民の交流・健康増進とスポーツ人口の拡大を図る （３）地域おこし協力隊の配置及び活動支援 2,734千円 ①新隊員の配置及び取り組み ・地域情報及びイベントに関する情報発信、地域特有イベントの企画運営による交流人口増 ②前年度任期満了隊員の起業の支援 （４）平田地域協議会の開催 326千円 （５）首都圏ふるさと平田会との交流 56千円	（１）にぎわい創出 ①八幡・平田連携事業(隔年合同開催、R５八幡開催) 実施内容：**八幡・平田地域が連携し地域が有する「食」「自然」などの魅力を発信**（八幡・平田で隔年合同開催）、実施日：R5.10.22、参加人数：3,000人 ②自然体験教室の開催 実施内容：地域資源を活用し郷土愛の醸成に資するための小学生を対象とした**自然体験教室**、実施日：R5.6.8～8.31（8.31は中止）、参加人数：114人 （２）芸術文化、スポーツの振興 ①**平田さしこ教室**の開催（初級、中級、上級コース） 実施内容：日本三大刺し子のひとつといわれる庄内刺し子の伝統と技術を継承し、担い手を確保することを目的にさしこ教室を実施、実施日：R5.5.24～9.27の毎月第2・第4水曜日（全8回）、参加人数：初級 13人、中級 11人、上級 7人、計 31人 ②**ひらた文化祭の開催** 実施内容：各種作品展やステージ発表会により、市民に発表の場を設け、地域の芸術文化への関心を深める、実施日：R5.9.3～12.3、参加人数：2,765人 （３）地域おこし協力隊の配置及び活動支援/R5配置なし ●地域情報及びイベントに関する情報発信 実施内容　管内各コミュニティ振興会主催の文化祭等を平田地域版の広報「ひらたタウンニュース」にて周知、実施日:毎月1日発行（全12回）
当初予算額 4,373 千円	決算見込み 1,601 千円
主な経費 ひらた自然体験教室委託料、ひらた文化祭実行委員会負担金、平田地域観光物産事業実行委員会負担金	

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
①**にぎわい創出**【拡充】内容等を整理して実施することとしたイベントへの負担金等 ●**八幡・平田連携事業** **・地域が有する食・文化などの魅力発信する八平（はっぴー）まつり（八幡・平田隔年開催）** **・田沢川ダムなどの地域特有の資源を活用した里山DAY inたざわ、地域団体・企業等の協賛による庄内ひらた目ん玉夏まつり** **・地域資源を活用し、郷土愛の醸成に資するため小学生を対象とした自然体験教室** ●**芸術文化、スポーツの振興** **・地域の伝統技術を次世代継承するため、平田さしこ教室（初級、中級、上級、各8回）** **・地域住民の文化・芸術にふれる機会を提供するため、ひらた文化祭** ・地域住民の交流・健康増進とスポーツ人口の拡大を図るため、スポーツ大会・教室 ②地域おこし協力隊の配置および活動支援 ・新隊員の配置および取組み・地域情報およびイベントに関する情報発信や地域資源を活用した交流事業 ③平田地域協議会開催 ④岐阜県海津市との児童交流開催	
当初予算額 6,868 千円	決算見込み 千円
主な経費 平田地域観光物産事業実行委員会負担金、里山ＤＡＹｉｎたざわ実行委員会負担金、八幡・平田連携事業実行委員会負担金、ひらた文化祭実行委員会負担金、平田っ子交流会実行委員会負担金	

15小中一貫教育

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	演劇ワークショップ	担当課	教育委員会学校教育課
	予算事業名	小中一貫教育推進事業		
事業概要		小中一貫教育を通して、教員の指導力の向上を図るとともに、本市の教育課題を改善し教育の質を高めることにより、児童生徒の社会の変化に対応できる確かな学力を育成すること。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☑ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☑ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☑ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市(教育委員会)
2 関係団体等	R５：市内小学校 R６：市内小中学校
3 協働者(事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) NPO法人PAVLIC(報酬・旅費)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(小中学生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

5事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	演劇ワークショップの実施校数	校		1	2			
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

15小中一貫教育

6事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
演劇ワークショップの実施 ・自律する力、尊重する力、創造する力などの非認知能力の向上を目的とした演劇ワークショップを小学校１校で実施し、実践の資料をまとめ、他の学校での実施を推進する。	・演劇ワークショップ 実施内容 ・小グループでの演劇創作 ・外部講師による指導 実施校ごとの実績(校名、実施日、参加人数) ・実施校 酒田市立亀ケ崎小学校 ６年１組、２組 ・参加人数 計５７名 ・実施日 令和５年７月５日（水） 令和５年１１月１日（水）

当初予算額	538 千円	決算見込み	538 千円
主な経費	NPO法人PAVLIC謝金・費用弁償		

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
①演劇ワークショップの実施 ・自律する力、尊重する力、創造する力などの非認知能力の向上を目的とした演劇ワークショップを小学校1校で実施 ・【拡充】令和6年度から中学校（1校）でも実施・実践の資料をまとめ、他の学校での実施を推進 ②各中学校区の合同研修会の実施 ・小中の教職員の対話や協働的な研修を通じて、各中学校区の特色ある教育活動を推進・小中一貫教育コーディネーターを派遣し、各中学校区の取り組みを支援 ③学習ソフトCBTforSchoolの活用 ・学習習慣の定着および自己効力感の向上に有効であるCBTforSchoolを活用 ④「根の力」（※）の指標調査 ・年2回（6月、12月）小学4年生～中学3年生を対象として「根の力」の指標調査を実施し、小中一貫教育の効果を検証 ※根の力・・・酒田市教育大綱に位置付ける「まなびの樹」において根幹となる「学びに向かう力、人間性」	

予算額	4,149 千円	決算額	千円
主な経費	演劇ワークショップ実施業務委託料		

16文化活動支援

令和５年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	①吹奏楽合同演奏会、②中学校合唱コンクールに向けた各中学校への外部指導者招聘、③小学生観劇教室、④中学校体育連盟大会および中学校文化連盟大会出場支援	担当課	教育委員会学校教育課
	予算事業名	～R5①②③文化活動重点事業、④中学校大会出場支援事業 R6～スポーツ・文化活動支援事業		
事業概要		①②音楽活動の活性化とその理解及び普及を目指し、豊かな感性を育む教育活動を一層充実し、児童生徒の健やかな成長を図る。 ③「やさしく豊かな心」、「友情と助け合い」、「夢や希望を持って生きることの大切さ」などについて舞台から直接訴えかけることにより道徳・情操教育に寄与するとともに、優れた演劇に触れるきっかけをつくり、明日への活力を生み出し、児童の健やかな成長を図る。④飽海地区中学校体育連盟および飽海地区中学校文化連盟に加入する市内７中学校が生徒を大会に派遣し、費用について補助すし、保護者負担の軽減を図るもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☑ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☑ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	①②市(教育委員会)、③（財）舞台芸術センター
2 関係団体等	①②市内中学校 ③市内小学校
3 協働者(事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) （財）舞台芸術センター(負担金)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども(小中学生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他( )

5事業に対する活動指標(担当課記入)		単位	実績		実績/目標			
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	部活動指導員を配置した部活動数	部			15			
(2)	③小学生観劇教室実施校数	校	中止	634	650			
(3)	①②実施校数	校	中学校6	中学校７	中学校７			
(4)								
(5)								

16文化活動支援

6事業内容(担当課記入)

令和5年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
①中学校における吹奏楽合同演奏会の実施、 **②外部講師招聘による中学校の合唱活動の充実** **③劇団四季ミュージカル『エルコスの祈り』**/・令和５年１０月４日（水）・酒田市民会館「希望ホール」・参加者/鑑賞希望の酒田市立小学校６年生児童・バス代は参加児童負担（今年度一人あたり700円までの負担を予定。元年度は582。）・要保護児童は市費負担、準要保護児童、特別支援学級児童は、就学援助費あるいは特別支援教育就学奨励費として限度額まで支給。 ④中学校体育連盟大会および**中学校文化連盟大会出場支援** ・飽海地区中学校体育連盟および飽海地区中学校文化連盟に加入する市内７中学校が生徒を大会に派遣する費用について補助し、保護者負担の軽減を図るもの。 （1）中学校体育連盟大会出場補助金 ①中学校駅伝競走大会、②中学校総合体育大会、③中学校新人総合体育大会、④中学校スキー大会 （2）中学校文化連盟大会出場補助金 ①全日本吹奏楽コンクール山形県大会、②全日本吹奏楽コンクール東北大会、③全日本アンサンブルコンテスト東北大会 ④全日本合唱コンクール東北大会	**①中学校における吹奏楽合同演奏会の実施** ・各校吹奏楽部による演奏発表 ・外部講師による講評、指導 ・外部指導者指揮による合同演奏 ・参加校 市内全７中学校 ・実施日 令和５年９月１７日 ・参加人数 ２００名程度 **②外部講師招聘による中学校の合唱活動の充実** ・外部講師による各校での合唱指導及び合唱コンクール当日の審査、講評 ・実施校 市内６中学校（東部中を除く） ・実施日 各校の計画による ・参加人数 各学校全学級を対象に指導（全生徒） **③劇団四季ミュージカル『エルコスの祈り』** ・令和5年10月4日 ・参加校 市内２０小学校（鳥海小を除く） ・参加人数 ６年生児童 ６３４人 ・1人あたり 336円の負担
当初予算額 452 千円	決算見込み 335 千円
主な経費 ・外部講師謝金137千円・会場使用料163千円・楽器運搬車借上料25千円、中学生大会派遣奨励補助金5088千円	

令和6年度

◆予算要求時の具体的な事業内容(担当課記入)	◆実績(担当課記入)
①部活動指導員の配置 ②小学校授業への陸上サポーターの派遣 **③吹奏楽合同演奏会の実施** **④中学校合唱コンクールに向けた各中学校への外部指導者招聘** **⑤小学生観劇教室の実施/こころの劇場（劇団四季）負担金** **⑥中学校体育連盟大会および中学校文化連盟大会出場への支援** 【特定財源】（国）部活動指導員配置促進事業費補助金 1,568千円、小学校観劇教室負担金 415千円	
当初予算額 8,488 千円	決算見込み 千円
主な経費 小学生観劇教室開催負担金415千円、中学生大会派遣奨励補助金4,711千円ほか	